

西南女学院大学・短期大学部
2020 年度学生生活に関する実態調査
【調査結果報告書】

2021 年 5 月

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 共通調査（両学年共通）	2
〔1〕回収率	2
〔2〕回答者の基本属性	2
〔3〕現在の住まい	3
〔4〕通学時間	3
〔5〕出身高校	4
〔6〕入試形態	5
〔7〕志望順位	8
〔8〕高校での成績	10
〔9〕志望理由	11
〔10〕入学以降、力を入れてきた事柄	13
〔11〕大学での学習成果	15
〔12〕1週間の生活時間	21
〔13〕1週間の通学頻度・授業への出席状況・大学で過ごす時間数	30
〔14〕大学等で過ごす場所	32
〔15〕学生生活全般に対する満足度	34
〔16〕本学での成績	44
〔17〕学生生活に対する充実度	45
〔18〕後輩に対する本学の推奨度合	47
〔19〕悩み	49
〔20〕悩みの相談先	52
〔21〕将来のキャリア	54
〔22〕海外留学	55
〔23〕授業の経験	62
2. 卒業前調査（最終学年対象）	66
〔1〕影響を受けた授業	66
〔2〕将来のキャリアへの影響度	72
〔3〕進路決定	75
〔4〕大学教育への評価	84
〔5〕大学生活を振り返って	86

第3章 経年比較	88
〔1〕入学以降、力を入れてきた事柄	88
〔2〕大学での学習成果	90
〔3〕学生生活全般に対する満足度	93
〔4〕学生生活に対する充実度	94
〔5〕後輩に対する本学の推奨度合	95
〔6〕悩み	95
〔7〕将来のキャリア	99
第4章 調査票	100

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、学生に「本学に通うことになった背景」やこれまでの「授業や学生生活での経験」を振り返ってもらいながら、「入学してからの自分自身の成長の実感」、「大学に対する満足度（要望）」、「将来のキャリア」などを把握し、本学における教育や学生支援などをよりよくするために活用するものである。

2. 調査設計と回収結果

調査対象者	大学:看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科の1・4年生 短期大学部:保育科の1・2年生
調査方法	郵送調査
回収数	627 人
調査時期	2020 年 11 月 30 日(月)～2020 年 12 月 18 日(金)

3. 調査結果の見方

○回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

○クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

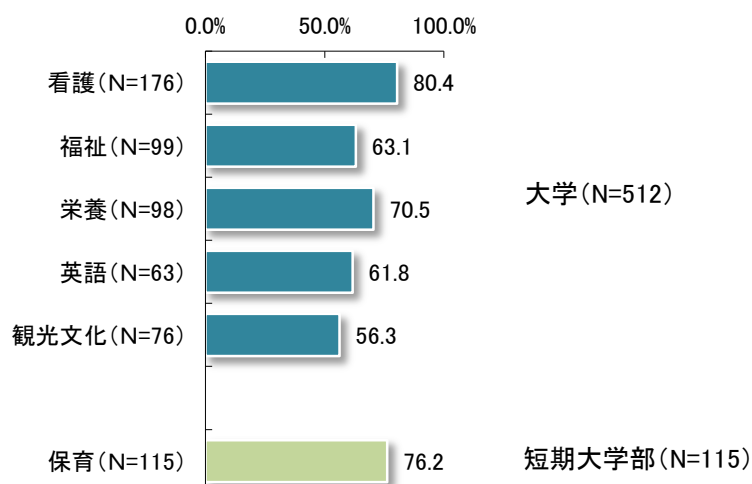
○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第4章 調査票」を参照のこと。

○図表中及びコメントにある「短期大学部」とは、保育科を指す。

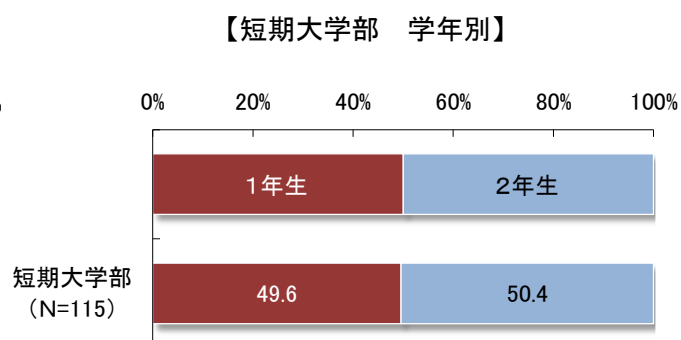
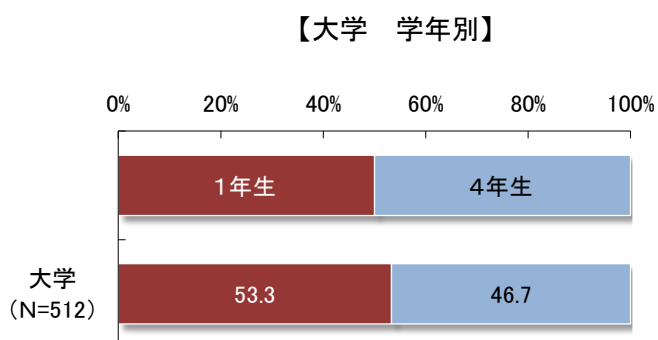
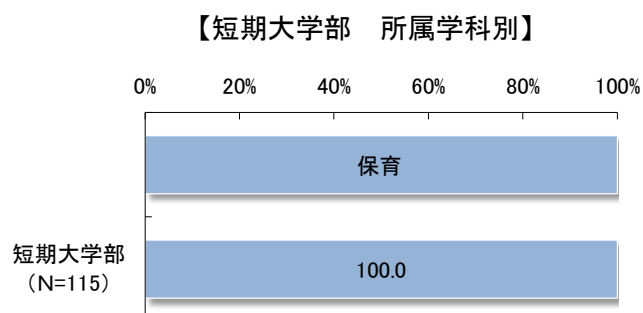
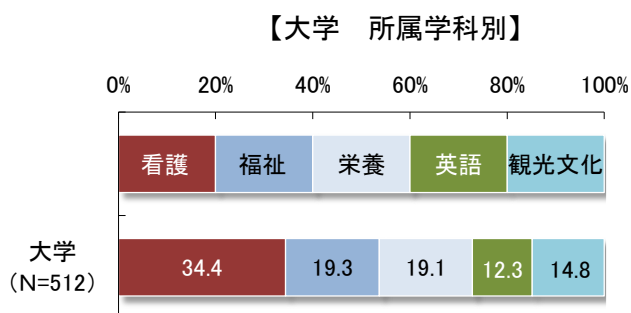
第2章 調査結果

1. 共通調査（両学年共通）

〔1〕回収率

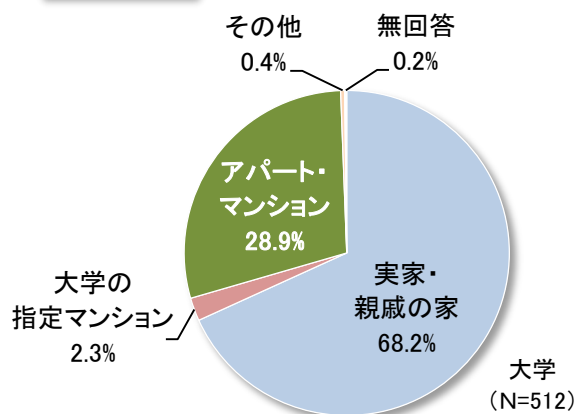


〔2〕回答者の基本属性

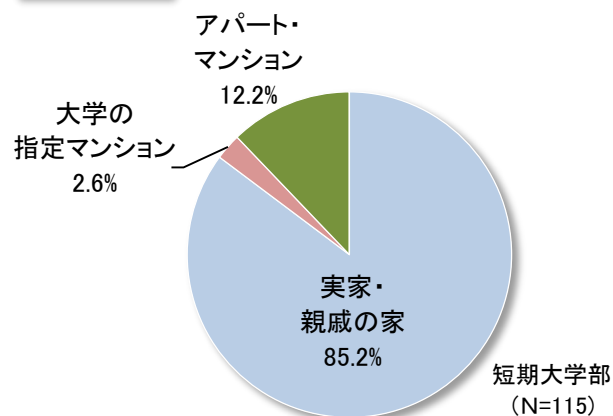


〔3〕現在の住まい

大 学

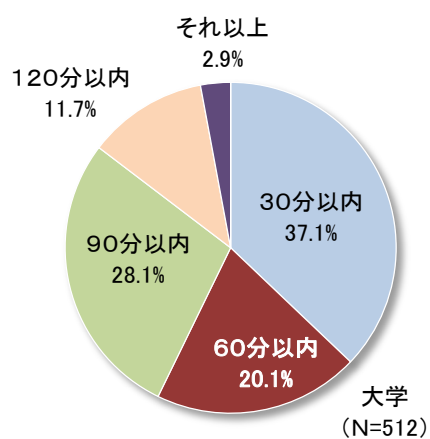


短期大学部

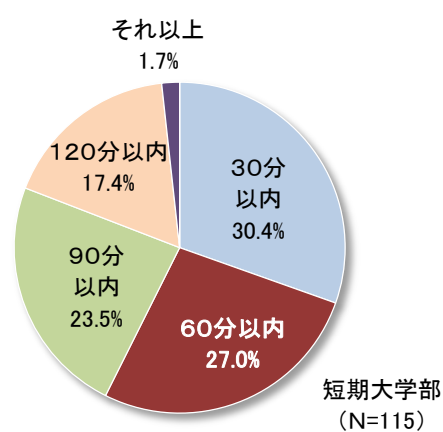


〔4〕通学時間

大 学

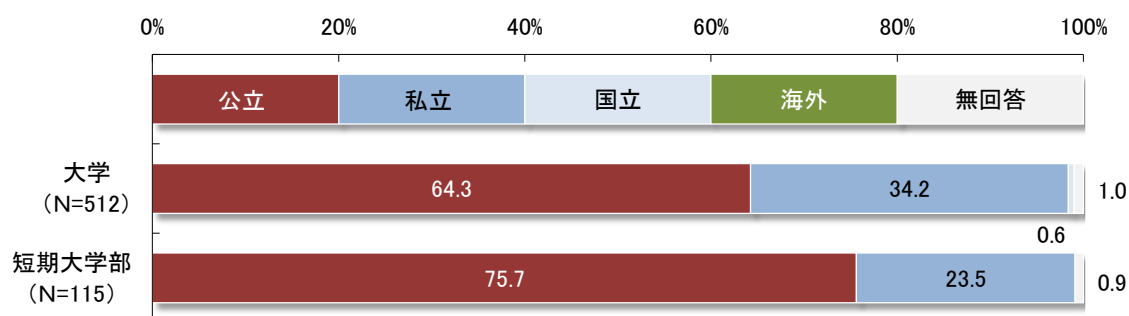


短期大学部

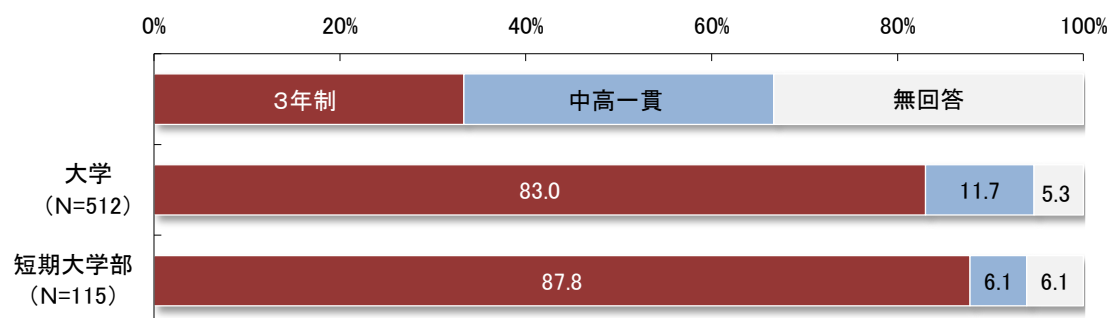


〔5〕出身高校

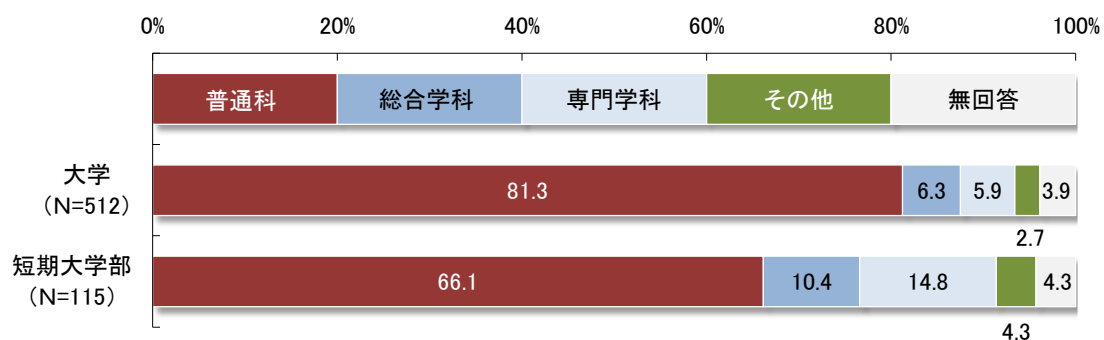
【設置者】



【種類】



【学科】



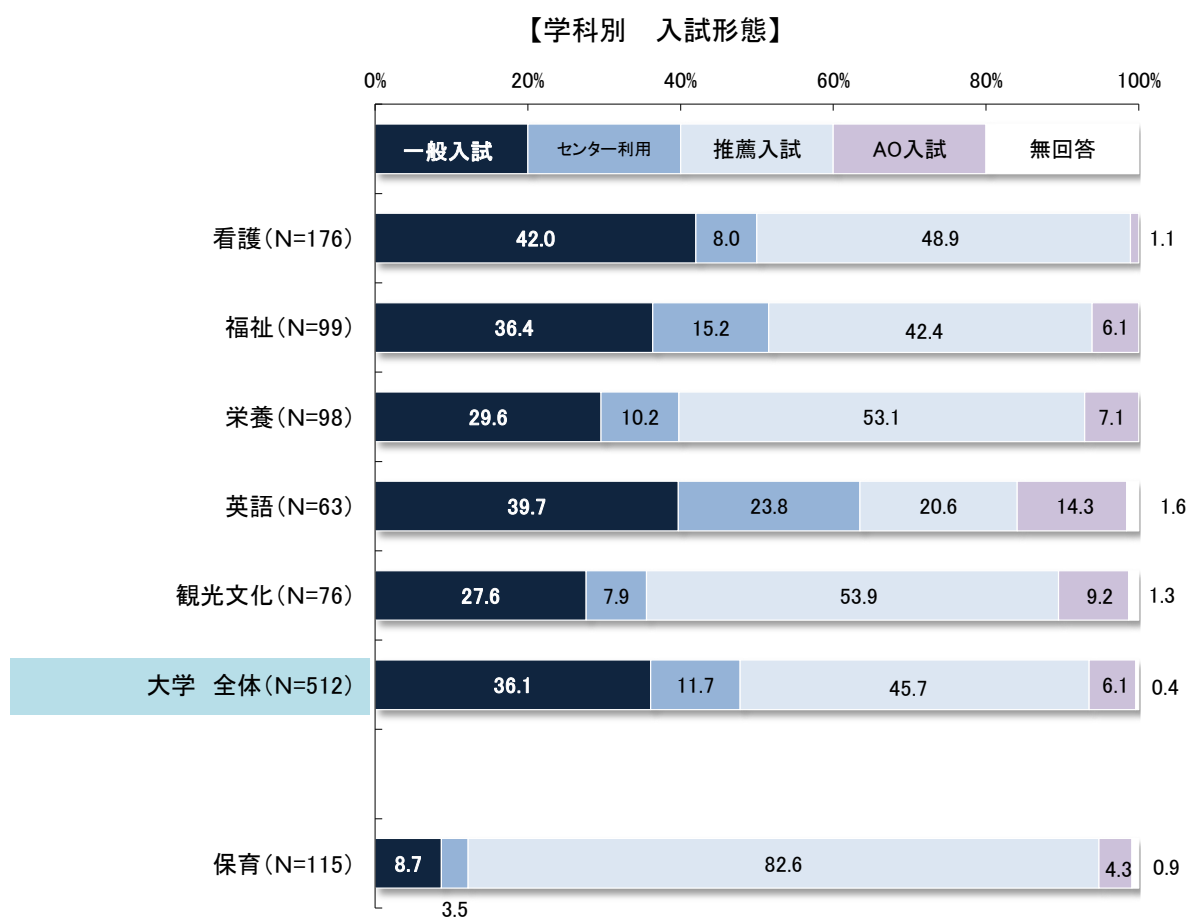
〔6〕入試形態

本学に入学した入試形態は、大学では「推薦入試」(45.7%)が最も多く、次いで「一般入試」(36.1%)、「センター利用」(11.7%)となっている。

短期大学部においても「推薦入試」が最も多く8割強(82.6%)を占めており、学生の過半数が推薦入試での入学となっている。

大学の学科別にみると、英語学科は「推薦入試」(20.6%)より「一般入試」(39.7%)の割合が高い。

問 次のどの入試で本学に入学しましたか。(1つだけ選んでください)

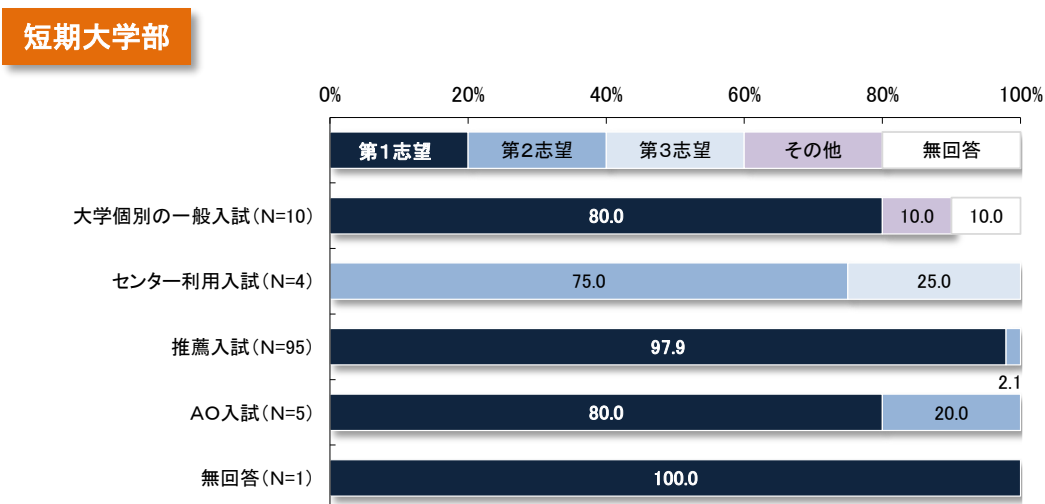
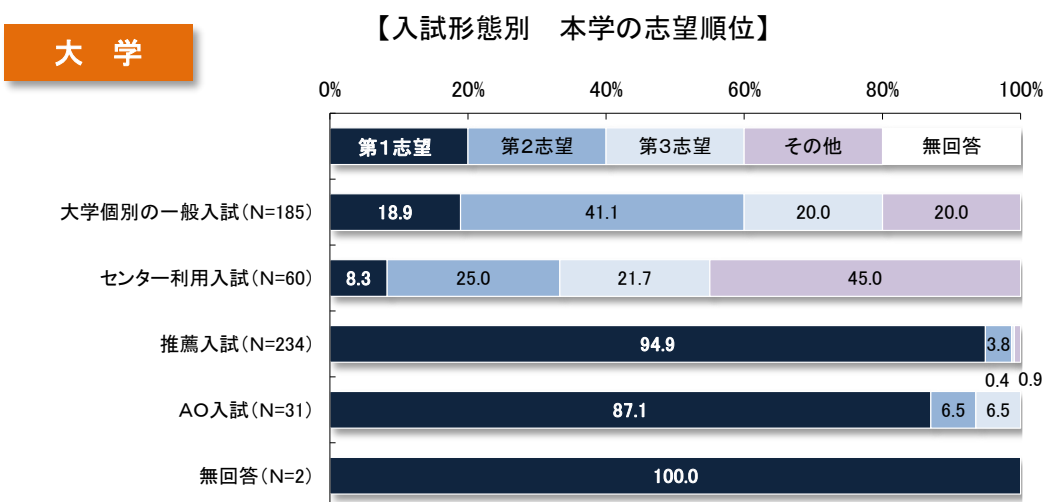


第2章 調査結果

入試形態別に本学の志望順位をみると、大学の推薦入試では「第1志望」(94.9%)が最も多く、AO入試でも「第1志望」が8割以上となっている。短期大学部の推薦入試では「第1志望」が97.9%、AO入試でも「第1志望」が80.0%と高い割合になっている。

大学の一般入試では「第2志望」(41.1%)が多く、センター利用入試では「その他」(45.0%)が多く、「第2志望」(25.0%)と「第3志望」(21.7%)が同程度となっているなど、一般入試とセンター利用入試では本学の志望順位は低い。

また、短期大学部については概ね「第1志望」が多くなっているが、センター利用入試については「第2志望」(75.0%)が多くなっている。

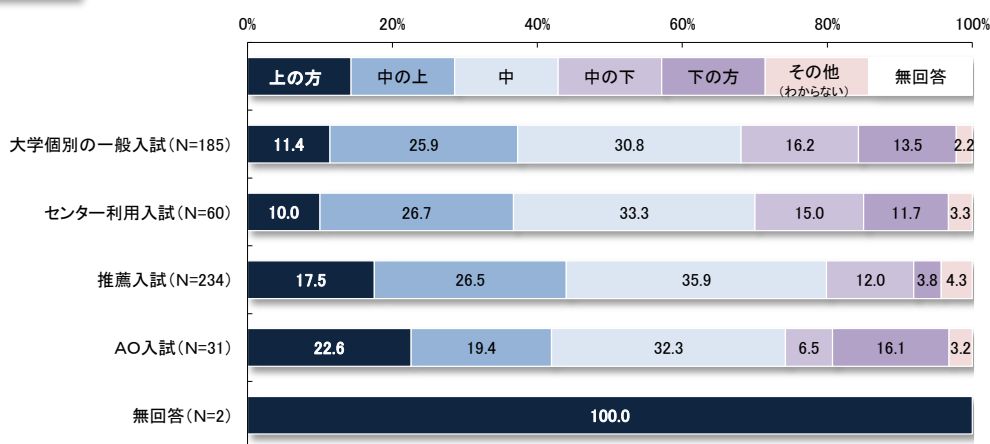


入試形態別に高校での成績をみると、大学はすべての入試形態で「中」が3割を占めて多くなっている。また、AO入試を除くすべての入試形態で「中の上」が2割半ばを占めている。高校での成績が「上の方」はAO入試（22.6%）で高い傾向にある。

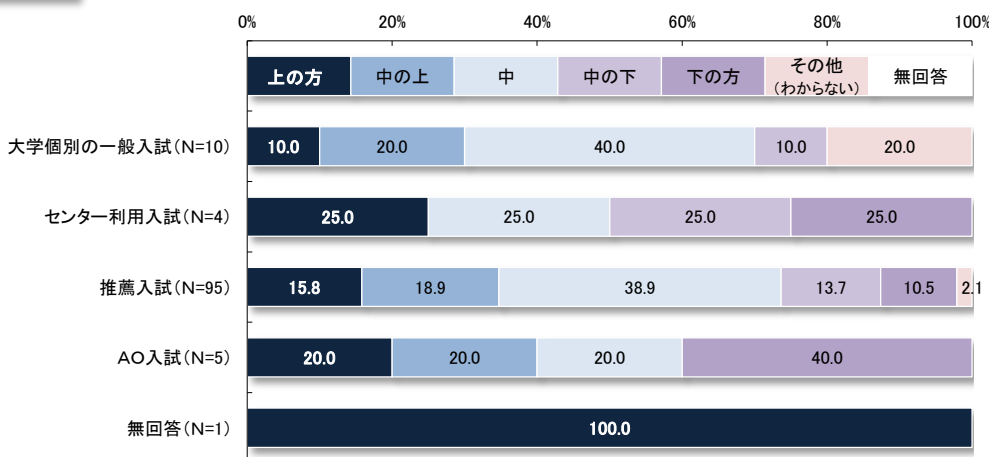
また、短期大学部では入試形態別の回答者数（N）に偏りがあるため、単純比較は困難だが、概ね「中」～「上の方」とする割合が5～7割と半数以上を占めている。ただし、センター利用入試、AO入試については「中の下」～「下の方」とする割合が比較的高い傾向にある。

大 学

【入試形態別 高校での成績】



短期大学部

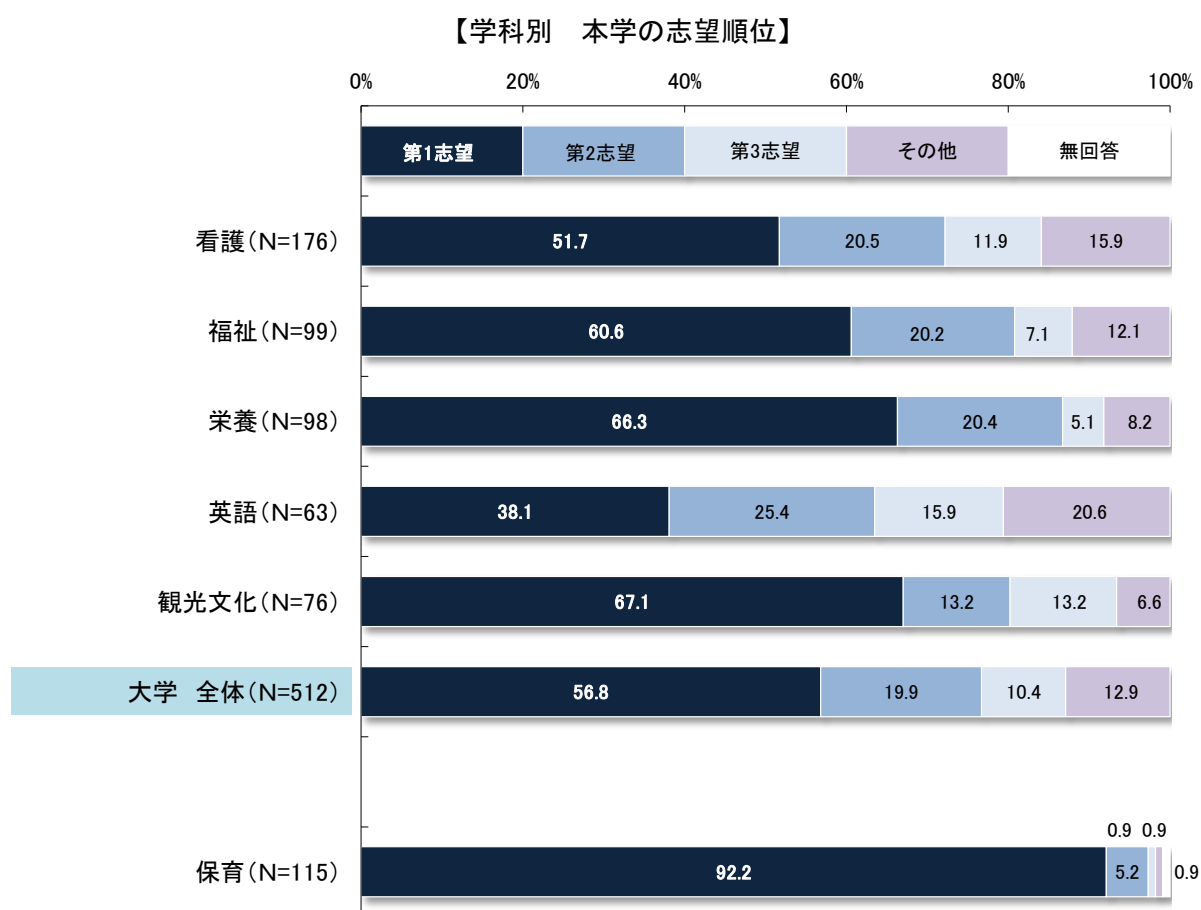


〔7〕志望順位

本学の志望順位は、大学では「第1志望」(56.8%)が最も多く、次いで「第2志望」(19.9%)、「その他」(12.9%)、「第3志望」(10.4%)となっている。短期大学部では「第1志望」が9割(92.2%)を占めている。

大学の学科別にみると、「第1志望」の割合は観光文化学科(67.1%)、栄養学科(66.3%)で6割半ば～7割弱と高く、英語学科(38.1%)で最も低くなっている。また、短期大学部では推薦入試の学生が多いこともあり、「第1志望」とする学生が92.2%と多くなっている。

問 本学を何番目に志望しましたか。(1つだけ選んでください)



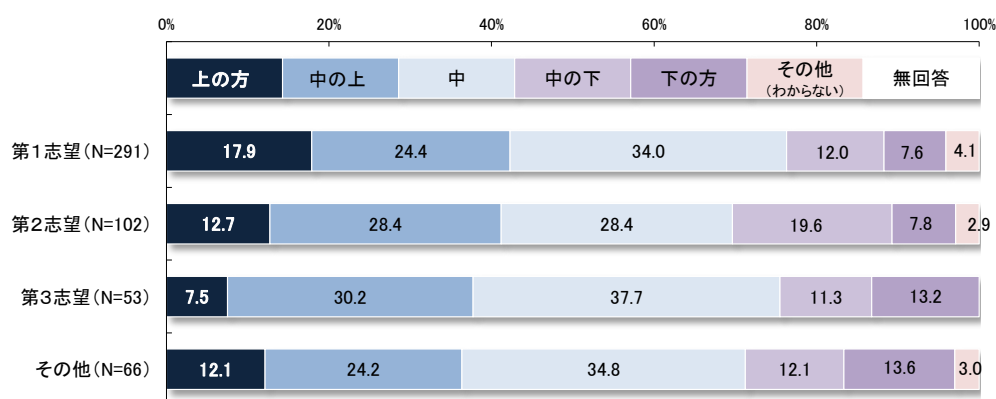
本学の志望順位別に高校での成績をみると、大学は、志望順位が高くなるほど「上の方」の割合が高くなる傾向にあり、第1志望では17.9%、第2志望では12.7%、第3志望では7.5%となっている。

短期大学部においては、第1志望は「中」が37.7%と最も多くなっているが、そのほかの項目では高校の成績に大きな偏りはみられず1～2割弱である。

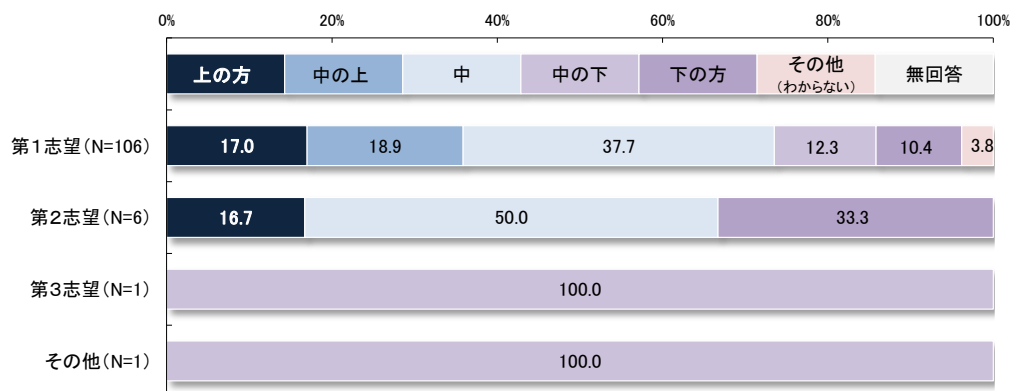
なお、本学を第1志望とする学生の高校での成績は、大学では「上の方」＋「中の上」が4割弱～4割強を占めている。

大 学

【本学の志望順位別 高校での成績】



短期大学部

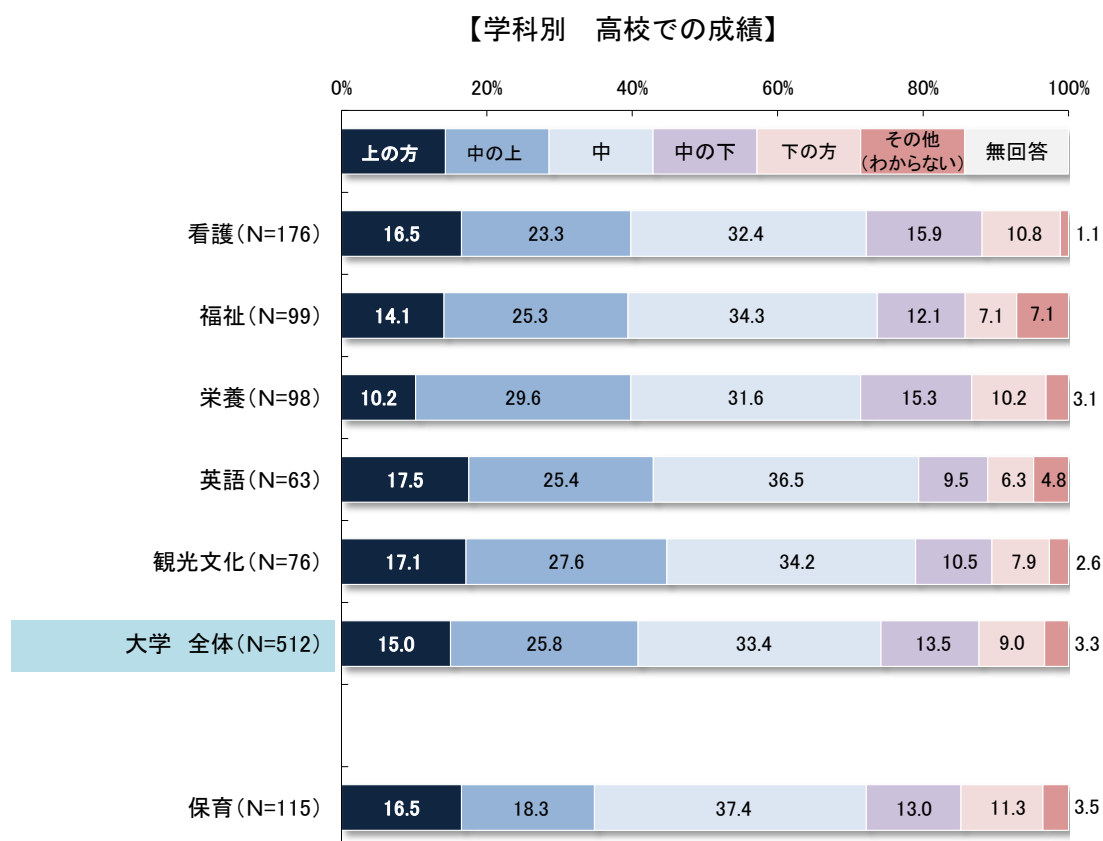


〔8〕 高校での成績

高校での成績は、大学、短期大学部ともに「中」（大学：33.4%、短期大学部：37.4%）が最も多く、次いで大学、短期大学部ともに「中の上」（大学：25.8%、短期大学部：18.3%）が多くなっている。

学科別にみると、高校での成績が「上の方」、または「中の上」とした人は観光文化学科（44.7%）と英語学科（42.9%）で高く、保育科（34.8%）で最も低くなっている。

問 あなたの高校での成績を教えてください。（1つだけ選んでください）

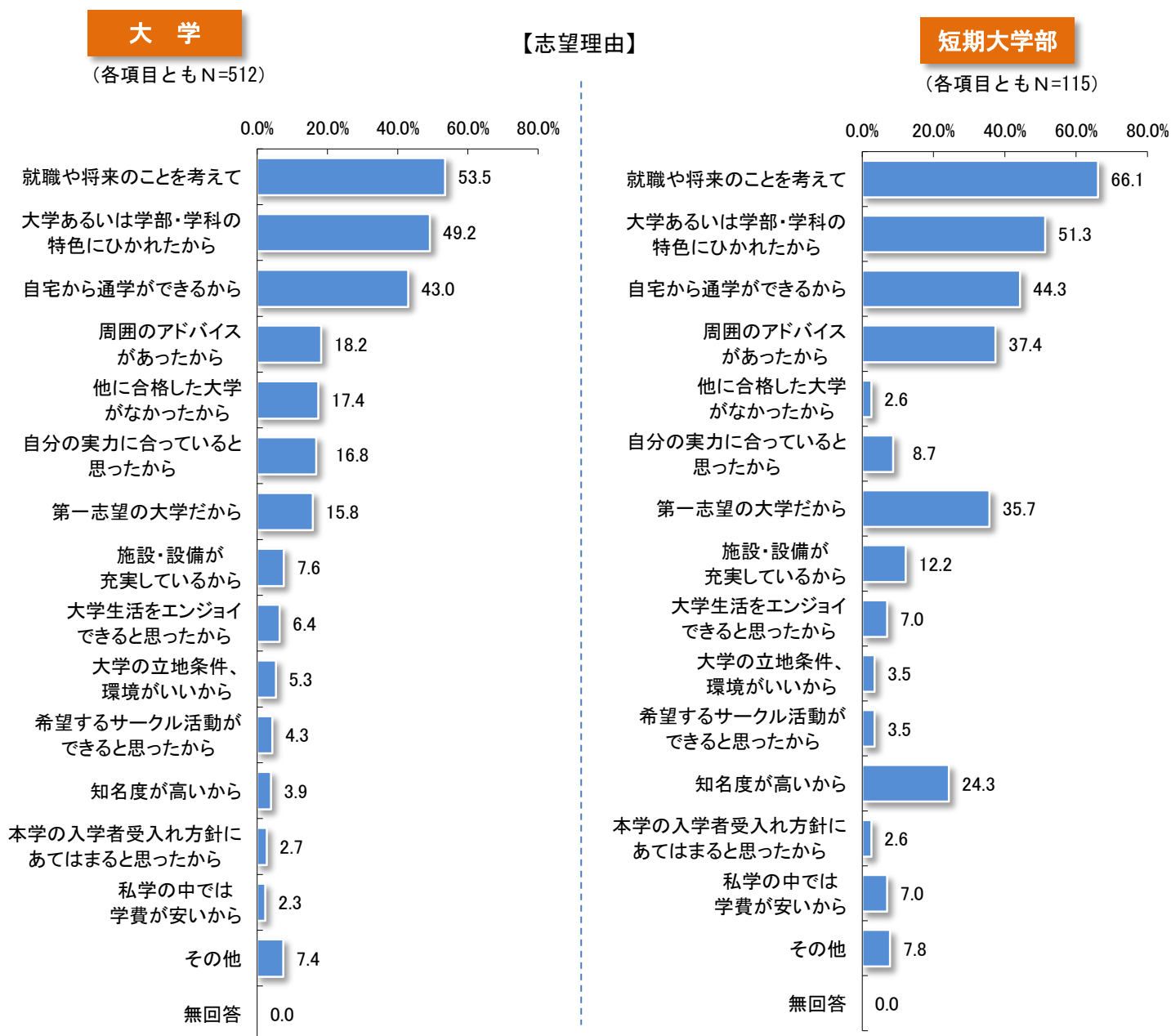


〔9〕志望理由

本学の志望理由は、大学、短期大学部ともに「就職や将来のことを考えて」（大学：53.5%、短期大学部：66.1%）や「大学あるいは学部・学科の特色にひかれたから」（大学：49.2%、短期大学部：51.3%）、「自宅から通学ができるから」（大学：43.0%、短期大学部：44.3%）が多くなっており、この上位3項目が主な志望理由となっている。

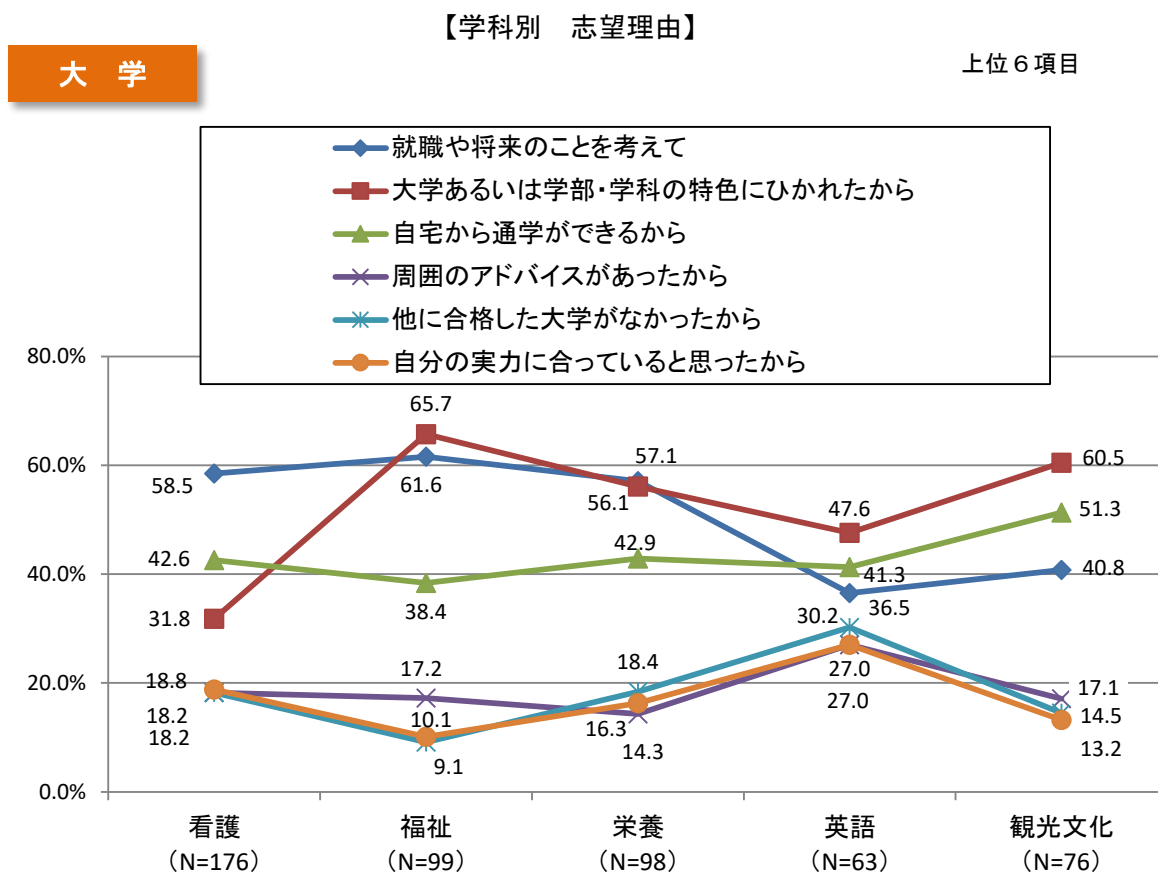
また、短期大学部ではこの他に「周囲のアドバイスがあったから」（37.4%）や「第一志望の大学だから」（35.7%）、「知名度が高いから」（24.3%）も割合が高くなっている。

問 本学を進学先として選んだ理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてを選んでください）



第2章 調査結果

大学の学科別に上位6項目をみると、全体で最も回答の多かった「就職や将来のことを考えて」の割合は看護学科（58.5%）、福祉学科（61.6%）、栄養学科（57.1%）で6割弱～6割強、英語学科（36.5%）、観光文化学科（40.8%）で3割半ば～4割となっている。また、福祉学科では「大学あるいは学部・学科の特色にひかれたから」（65.7%）を志望理由に挙げる人の割合が他学科に比べ高くなっている。



〔10〕入学以降、力を入れてきた事柄

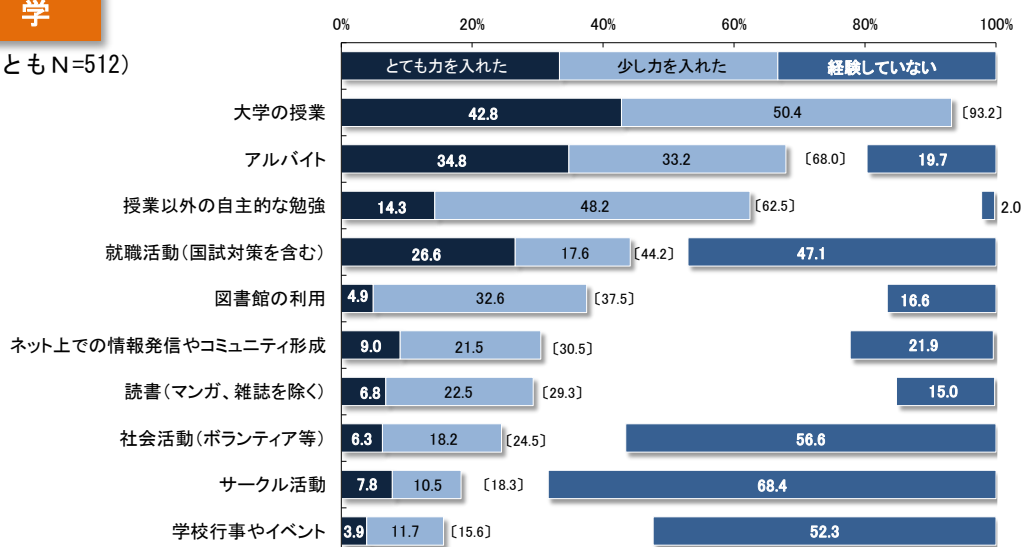
入学以降、力を入れてきた事柄について『力を入れた』（とても力を入れた＋少し力を入れた）の割合をみると、大学、短期大学部ともに「大学の授業」（大学：93.2%、短期大学部：94.8%）の割合が最も高く、次いで「アルバイト」（大学：68.0%、短期大学部：60.9%）、「授業以外の自主的な勉強」（大学：62.5%、短期大学部：52.1%）、「就職活動（国試対策を含む）」（大学：44.2%、短期大学部：44.3%）となっている。

問 入学以降、次の項目について、あなたはどのくらい力を入れてきましたか。
（それぞれ1つずつ選んでください）

【入学以降、力を入れてきた事柄】

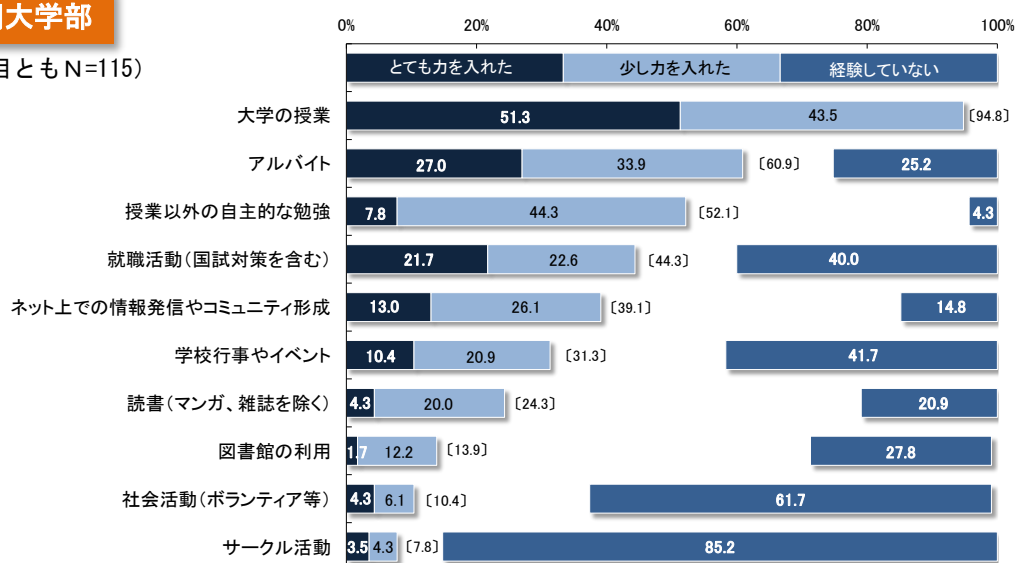
大 学

(各項目ともN=512)



短期大学部

(各項目ともN=115)



注1) 選択肢は「とても力を入れた」「少し力を入れた」「あまり力を入れなかった」「全く力を入れなかった」「経験していない」の5段階
 注2) []は「とても力を入れた」＋「少し力を入れた」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

第2章 調査結果

大学の学科別にみると、いずれの学科も「大学の授業」、「アルバイト」、「授業以外の自主的な勉強」、「就職活動（国試対策を含む）」に力を入れる学生が多くなっているが、全体平均に比べ、看護学科では「図書館の利用」、福祉学科では「図書館の利用」や「社会活動（ボランティア等）」、英語学科では「学校行事やイベント」、「読書（マンガ、雑誌を除く）」、観光文化学科では「アルバイト」、「ネット上での情報発信やコミュニティ形成」がそれぞれ10ポイント以上高くなっており、学科により時間を割く事柄に差がみられる。

【学科別 入学以降、力を入れてきた事柄】（％）

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全 体	176	99	98	63	76	512	115
大学の授業	92.6	94.9	93.9	90.5	93.4	93.2	94.8
図書館の利用	48.3	47.5	12.2	25.4	42.1	37.5	13.9
サークル活動	14.8	21.2	22.4	23.8	13.2	18.4	7.8
授業以外の自主的な勉強	71.6	56.6	54.1	68.3	55.3	62.5	52.2
学校行事やイベント	13.1	15.2	8.2	30.2	19.7	15.6	31.3
アルバイト	60.2	69.7	67.3	68.3	84.2	68.0	60.9
社会活動（ボランティア等）	27.8	44.4	6.1	14.3	22.4	24.4	10.4
読書（マンガ、雑誌を除く）	22.7	37.4	16.3	46.0	36.8	29.3	24.3
ネット上での情報発信やコミュニティ形成	29.0	33.3	20.4	28.6	44.7	30.5	39.1
就職活動（国試対策を含む）	48.3	43.4	46.9	33.3	40.8	44.1	44.3

注1) 「とても力を入れた」＋「少し力を入れた」の合計％。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

〔11〕大学での学習成果

入学した時点と比べて自身の能力や知識が『増えた』（増えた＋やや増えた）と評価する人の割合をみると、大学は「専門分野の知識」（97.3%）が最も高くなっており、次いで「職業や勤労に対する意識」（91.4%）、「PCやインターネットを活用する力」（91.2%）となっている。

短期大学部は「専門分野の知識」（97.4%）が最も高くなっており、次いで「専門分野の技術」（95.6%）、「職業や勤労に対する意識」（91.3%）となっている。

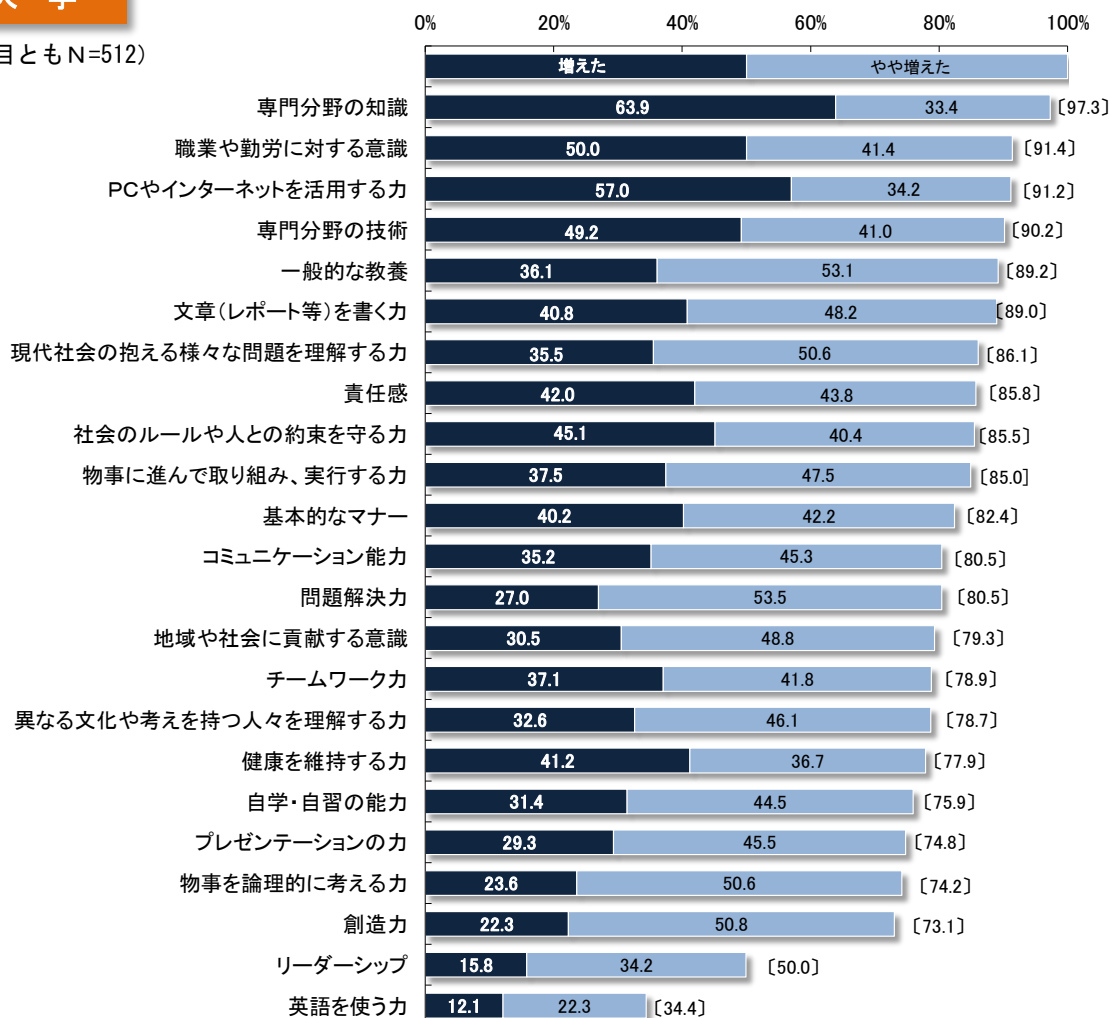
また、こうした学習成果がみられる一方で、「英語を使う力」（大学：34.4%、短期大学部：17.4%）は割合が低くなっており、入学時から変化がみられない学生も少なくない。

問 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。
（それぞれ1つずつ選んでください）

【大学での学習成果】

大 学

（各項目ともN=512）



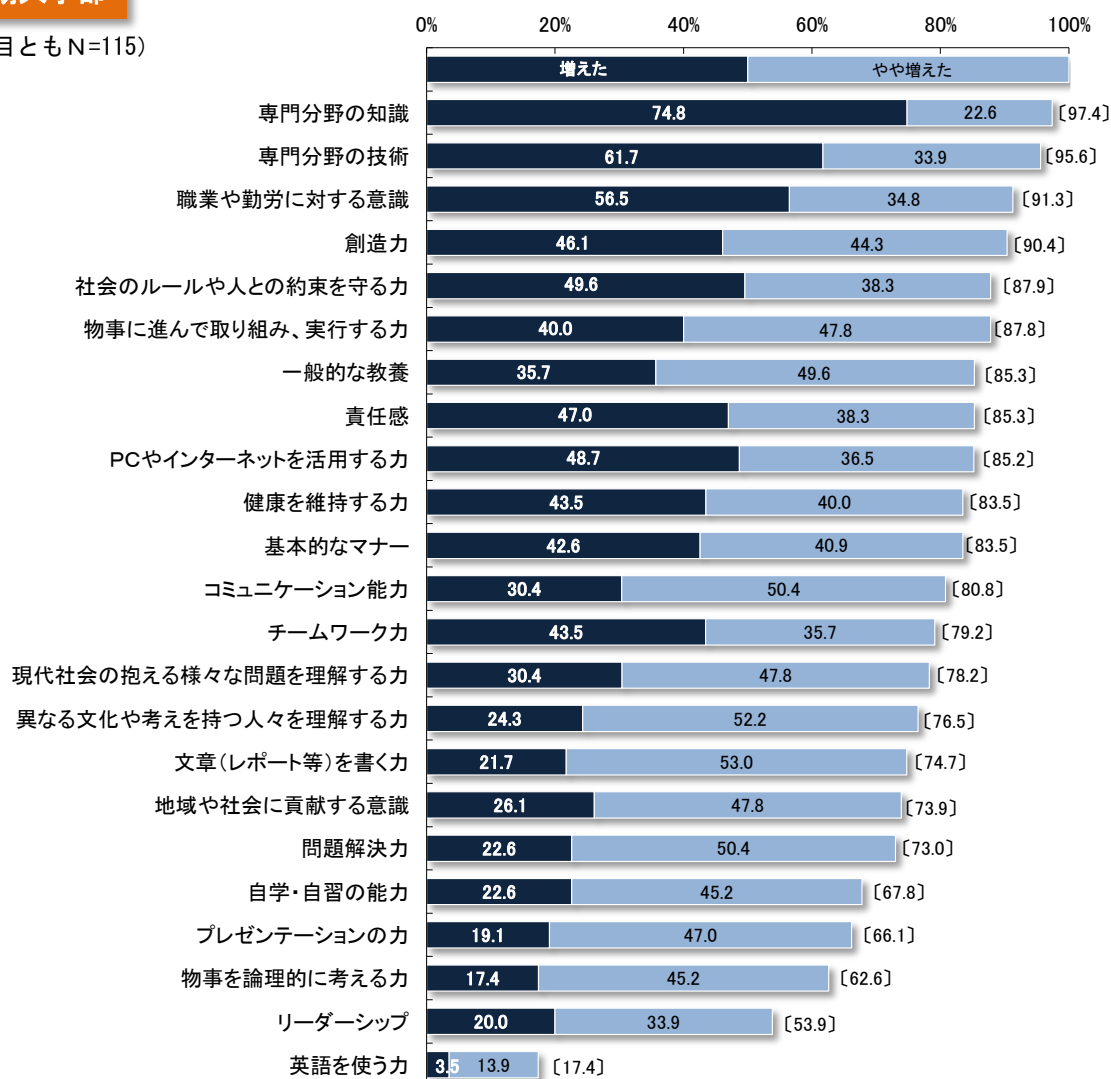
注1) 選択肢は「増えた」「やや増えた」「変化なし」「やや減った」「減った」「わからない」の6段階。

注2) [] は「増えた」＋「やや増えた」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

【大学での学習成果】

短期大学部

(各項目とも N=115)



大学の学科別にみると、看護学科では「自学・自習の能力」や「リーダーシップ」、福祉学科では「地域や社会に貢献する意識」、英語学科では「異なる文化や考えを持つ人々を理解する力」、「英語を使う力」、「プレゼンテーションの力」、観光文化学科では「英語を使う力」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高く、学んできたことや力を入れてきた事柄に応じた学習成果がみられる。

【学科別 大学での学習成果】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全 体(人)	176	99	98	63	76	512	115
一般的な教養	93.2	89.9	85.7	84.1	88.2	89.3	85.2
専門分野の知識	99.4	100.0	99.0	87.3	94.7	97.3	97.4
専門分野の技術	98.3	90.9	95.9	81.0	71.1	90.2	95.7
異なる文化や考えを持つ人々を理解する力	73.3	82.8	68.4	92.1	88.2	78.7	76.5
現代社会の抱える様々な問題を理解する力	86.4	96.0	77.6	77.8	90.8	86.1	78.3
地域や社会に貢献する意識	83.0	92.9	66.3	66.7	80.3	79.3	73.9
物事を論理的に考える力	77.3	78.8	69.4	63.5	76.3	74.2	62.6
問題解決力	90.3	76.8	77.6	74.6	71.1	80.5	73.0
責任感	89.8	86.9	86.7	71.4	85.5	85.7	85.2
創造力	75.6	70.7	75.5	65.1	73.7	73.0	90.4
職業や勤労に対する意識	93.2	94.9	83.7	90.5	93.4	91.4	91.3
健康を維持する力	83.0	74.7	81.6	68.3	73.7	77.9	83.5
社会のルールや人との約束を守る力	84.7	87.9	86.7	79.4	88.2	85.5	87.8
物事に進んで取り組み、実行する力	88.6	86.9	83.7	77.8	81.6	85.0	87.8
自学・自習の能力	86.9	67.7	69.4	76.2	69.7	76.0	67.8
PCやインターネットを活用する力	93.2	83.8	93.9	93.7	90.8	91.2	85.2
英語を使う力	18.2	22.2	16.3	95.2	60.5	34.4	17.4
文章(レポート等)を書く力	93.2	88.9	81.6	93.7	85.5	89.1	74.8
プレゼンテーションの力	72.7	79.8	82.7	87.3	52.6	74.8	66.1
コミュニケーション能力	80.1	76.8	86.7	87.3	72.4	80.5	80.9
基本的なマナー	79.5	84.8	87.8	81.0	80.3	82.4	83.5
リーダーシップ	62.5	36.4	51.0	52.4	35.5	50.0	53.9
チームワーク力	88.1	77.8	79.6	77.8	59.2	78.9	79.1

注1) 「増えた」+「やや増えた」の合計%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

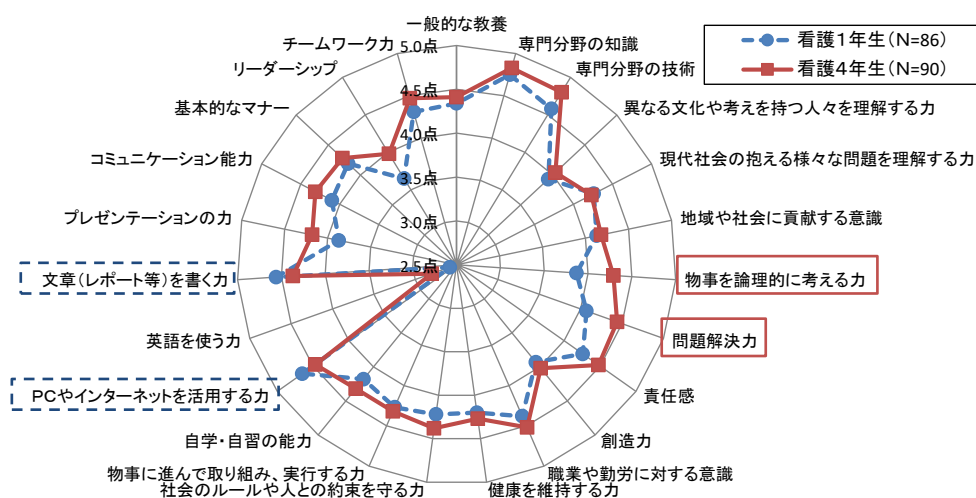
第2章 調査結果

減った=1点、やや減った=2点、変化なし=3点、やや増えた=4点、増えた=5点として配点し、学習成果の各項目の平均点を算出した。大学は1年生と4年生を比較し、1～4年を通じた各学科の教育効果の確認を行った。

看護学科では、「物事を論理的に考える力」で4年生が0.42ポイント、「問題解決力」で0.37ポイント高くなっている。

一方「文章（レポート等）を書く力」では1年生が0.19ポイント、「PCやインターネットを活用する力」では0.18ポイント高くなっている。

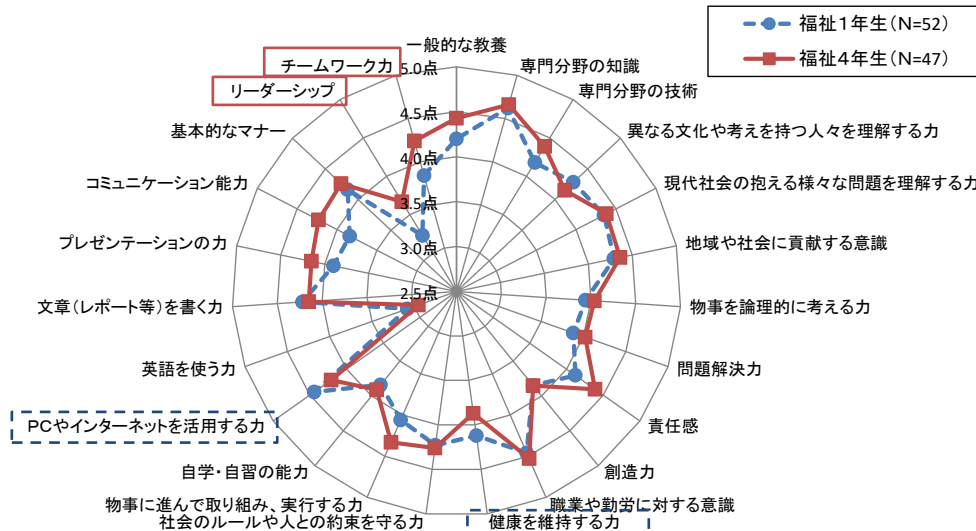
【看護学科の学習成果】



福祉学科では、「リーダーシップ」で4年生が0.44ポイント、「チームワーク力」で0.40ポイント高くなっている。

一方、「健康を維持する力」では1年生が0.25ポイント、「PCやインターネットを活用する力」では0.23ポイント高くなっている。

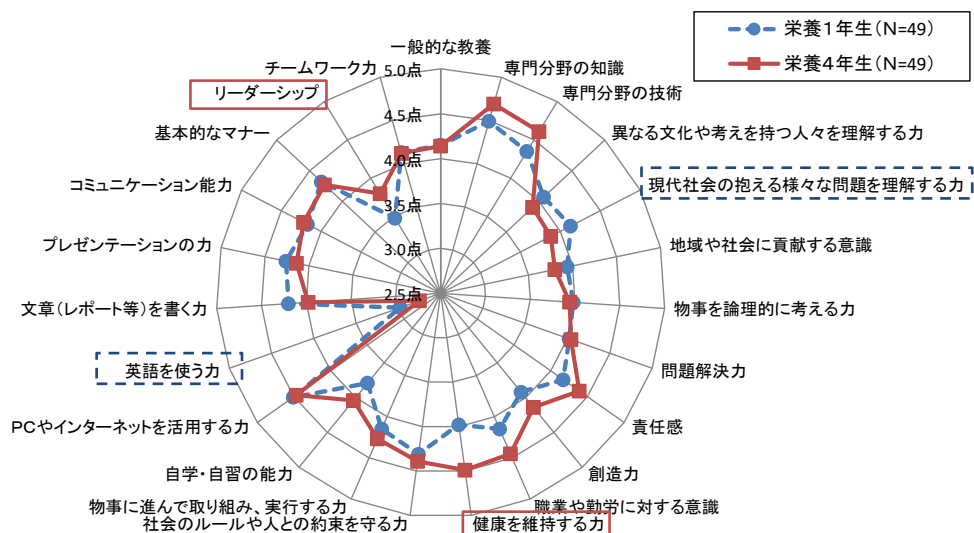
【福祉学科の学習成果】



栄養学科では、「健康を維持する力」で4年生が0.51ポイント、「リーダーシップ」で0.32ポイント高くなっている。

一方、「現代社会の抱える様々な問題を理解する力」では1年生が0.25ポイント、「英語を使う力」では0.23ポイント高くなっている。

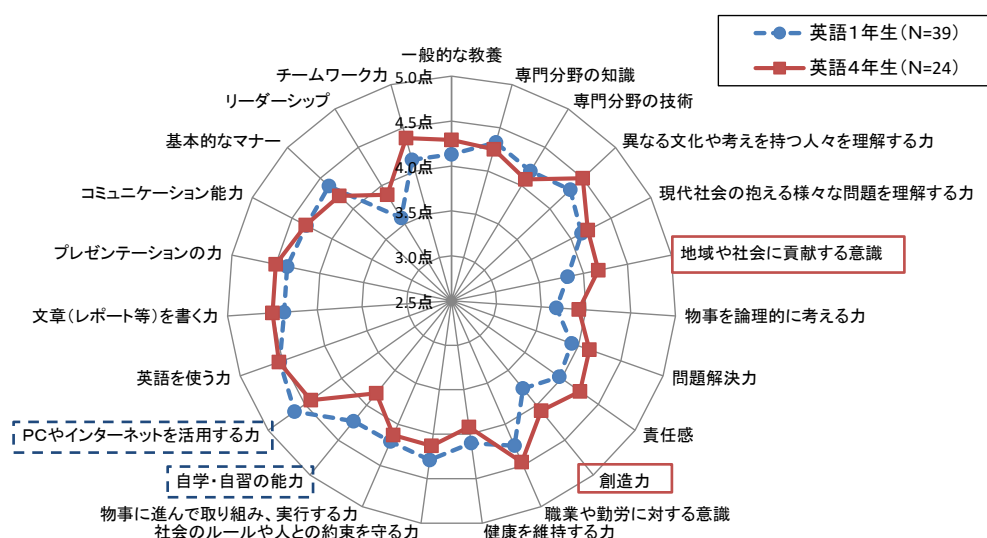
【栄養学科の学習成果】



英語学科では、「地域や社会に貢献する意識」で4年生が0.35ポイント、「創造力」で0.32ポイント高くなっている。

一方、「自学・自習の能力」では1年生が0.40ポイント、「PCやインターネットを活用する力」では0.22ポイント高くなっている。

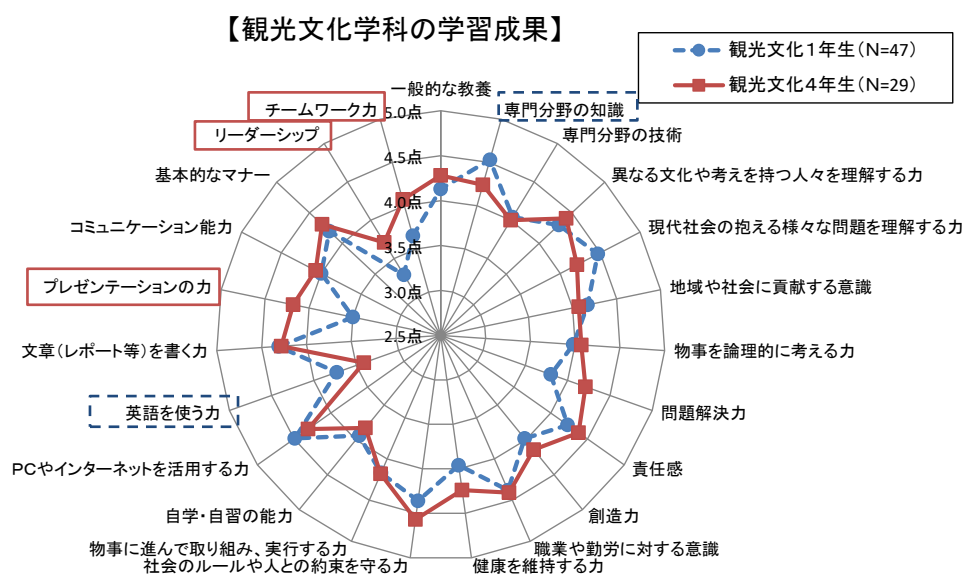
【英語学科の学習成果】



第2章 調査結果

観光文化学科では、「プレゼンテーションの力」で4年生が0.68ポイント、「リーダーシップ」、「チームワーク力」で0.42ポイント高くなっている。

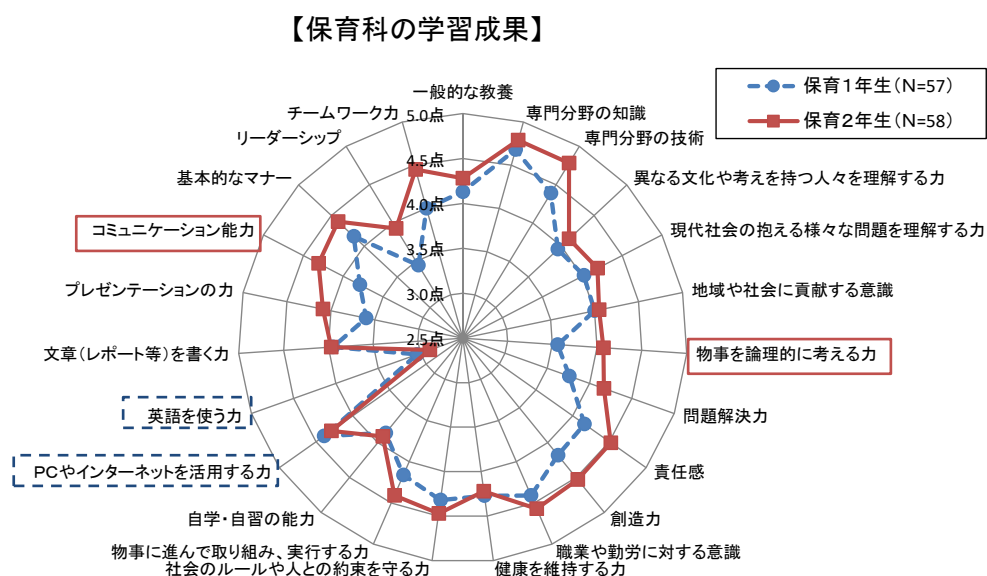
一方、「英語を使う力」では1年生が0.32ポイント、「専門分野の知識」では0.29ポイント高くなっている。



短期大学部についても同様に1年生と2年生を比較し、1～2年を通じた教育効果の確認を行った。

保育科では、「コミュニケーション能力」で2年生が0.52ポイント、「物事を論理的に考える力」で0.51ポイント高くなっている。

一方、「英語を使う力」では1年生が0.15ポイント、「PCやインターネットを活用する力」では0.10ポイント高くなっている。



〔12〕1週間の生活時間

1週間の生活時間（項目ごとの1週間に費やす平均時間）について、1週間に6時間以上費やしている割合をみると、大学、短期大学部ともに「授業への出席」（大学：63.9%、短期大学部：93.0%）が最も高く、次いで「携帯電話の使用」（大学：56.3%、短期大学部：64.3%）が高くなっている。

一方、1時間未満（0時間+1時間未満）は、大学では「授業以外での教員との会話」（91.8%）が最も高く、次いで「ボランティア活動」（90.0%）、「サークル活動」（88.9%）となっている。短期大学部では「ボランティア活動」（100.0%）が最も高く、次いで「サークル活動」（95.7%）、「読書（マンガ、雑誌を除く）」（87.8%）となっている。大学、短期大学部ともに「ボランティア活動」や「サークル活動」などは活動時間が特に短くなっている。

問 あなたは普段、次のことに1週間に平均どれくらいの時間を費やしていますか。
（それぞれ1つずつ選んでください）

【1週間の生活時間】（%）

大 学 (各項目ともN=512)	0時間	1時間未満	1時間+2時間未満	3時間+5時間未満	6時間+10時間未満	11時間+15時間未満	16時間+20時間未満	21時間以上	無回答	間1時間+1時間未満(0時)	6時間以上	平均時間(時間)
勉強や課題	0.8	7.0	29.5	25.2	18.2	7.2	3.5	7.0	1.6	7.8	35.9	6.08
授業への出席	3.9	2.5	7.4	20.9	18.8	7.2	10.2	27.7	1.4	6.4	63.9	11.20
授業以外での教員との会話	49.2	42.6	5.1	1.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	91.8	1.0	0.42
友人との交際	8.4	18.9	23.2	24.4	13.5	4.1	2.3	3.7	1.4	27.3	23.6	4.29
趣味	7.6	12.9	25.4	24.2	14.3	5.7	3.1	4.9	2.0	20.5	27.9	4.98
ボランティア活動	84.6	5.5	6.3	1.2	0.6	0.0	0.2	0.2	1.6	90.0	1.0	0.30
サークル活動	85.9	2.9	4.3	3.1	1.4	0.4	0.6	0.4	1.0	88.9	2.7	0.56
アルバイト	35.0	1.4	3.1	15.6	17.0	13.3	6.4	7.2	1.0	36.3	43.9	6.51
テレビ視聴・音楽鑑賞	2.7	10.9	25.6	26.8	16.2	6.4	3.7	6.6	1.0	13.7	33.0	5.76
家事手伝い	7.2	20.9	30.1	17.2	12.1	4.1	4.1	3.1	1.2	28.1	23.4	4.19
読書(マンガ、雑誌を除く)	52.0	24.4	12.1	6.8	2.1	1.0	0.4	0.4	0.8	76.4	3.9	1.04
携帯電話の使用	0.0	2.9	13.9	26.2	21.1	12.7	5.3	17.2	0.8	2.9	56.3	9.24
ネット上での友人との交流	17.6	22.5	23.6	16.2	8.6	4.5	1.8	4.5	0.8	40.0	19.3	3.68

短期大学部 (各項目ともN=115)	0時間	1時間未満	1時間+2時間未満	3時間+5時間未満	6時間+10時間未満	11時間+15時間未満	16時間+20時間未満	21時間以上	無回答	間1時間+1時間未満(0時)	6時間以上	平均時間(時間)
勉強や課題	0.0	13.0	33.9	29.6	13.0	4.3	0.9	4.3	0.9	13.0	22.6	4.47
授業への出席	0.9	0.0	1.7	2.6	27.0	5.2	12.2	48.7	1.7	0.9	93.0	15.65
授業以外での教員との会話	31.3	51.3	11.3	1.7	1.7	0.9	0.0	0.0	1.7	82.6	2.6	0.76
友人との交際	5.2	17.4	17.4	22.6	15.7	2.6	7.0	12.2	0.0	22.6	37.4	6.65
趣味	5.2	14.8	17.4	32.2	17.4	4.3	3.5	5.2	0.0	20.0	30.4	5.30
ボランティア活動	88.7	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.06
サークル活動	93.9	1.7	2.6	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	95.7	0.9	0.16
アルバイト	39.1	1.7	1.7	14.8	17.4	13.9	3.5	7.0	0.9	40.9	41.7	5.96
テレビ視聴・音楽鑑賞	1.7	9.6	25.2	20.9	16.5	10.4	4.3	11.3	0.0	11.3	42.6	7.10
家事手伝い	5.2	27.0	27.0	22.6	9.6	0.9	0.9	7.0	0.0	32.2	18.3	3.94
読書(マンガ、雑誌を除く)	54.8	33.0	7.0	1.7	2.6	0.0	0.0	0.9	0.0	87.8	3.5	0.73
携帯電話の使用	0.0	2.6	13.0	19.1	18.3	10.4	6.1	29.6	0.9	2.6	64.3	11.19
ネット上での友人との交流	7.8	13.9	20.0	23.5	14.8	6.1	5.2	8.7	0.0	21.7	34.8	6.05

第2章 調査結果

普段、1週間の生活時間で費やす時間が6時間以上の項目に着目すると、大学では看護学科で「勉強や課題」、栄養学科で「授業への出席」、英語学科で「家事手伝い」と「携帯電話の使用」、観光文化学科で「アルバイト」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

1時間未満（0時間＋1時間未満）の項目をみると、看護学科は「アルバイト」、栄養学科は「読書（マンガ、雑誌を除く）」と「ネット上での友人との交流」、観光文化学科は「勉強や課題」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

【学科別 1週間の生活時間】（％）

6時間以上の割合	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全体(人)	176	99	98	63	76	512	115
勉強や課題	54.0	26.3	37.8	30.2	9.2	35.9	22.6
授業への出席	60.8	62.6	76.5	60.3	59.2	63.9	93.0
授業以外での教員との会話	0.6	0.0	2.0	1.6	1.3	1.0	2.6
友人との交際	22.7	13.1	23.5	31.7	32.9	23.6	37.4
趣味	22.2	31.3	25.5	36.5	32.9	27.9	30.4
ボランティア活動	1.1	0.0	1.0	3.2	0.0	1.0	0.0
サークル活動	1.1	2.0	4.1	9.5	0.0	2.7	0.9
アルバイト	30.7	40.4	50.0	50.8	65.8	43.9	41.7
テレビ視聴・音楽鑑賞	22.7	36.4	37.8	38.1	42.1	33.0	42.6
家事手伝い	23.9	20.2	20.4	36.5	19.7	23.4	18.3
読書（マンガ、雑誌を除く）	2.3	6.1	4.1	6.3	2.6	3.9	3.5
携帯電話の使用	49.4	53.5	61.2	68.3	59.2	56.3	64.3
ネット上での友人との交流	18.8	17.2	17.3	17.5	27.6	19.3	34.8

1時間未満 （0時間＋1時間未満） の割合	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全体(人)	176	99	98	63	76	512	115
勉強や課題	3.4	11.1	5.1	3.2	21.1	7.8	13.0
授業への出席	14.2	1.0	0.0	3.2	6.6	6.4	0.9
授業以外での教員との会話	92.6	93.9	87.8	90.5	93.4	91.8	82.6
友人との交際	30.7	35.4	24.5	25.4	14.5	27.3	22.6
趣味	25.0	14.1	21.4	19.0	18.4	20.5	20.0
ボランティア活動	91.5	82.8	94.9	88.9	90.8	90.0	100.0
サークル活動	96.0	87.9	86.7	73.0	89.5	88.9	95.7
アルバイト	48.3	38.4	36.7	30.2	10.5	36.3	40.9
テレビ視聴・音楽鑑賞	20.5	9.1	9.2	12.7	10.5	13.7	11.3
家事手伝い	29.0	26.3	28.6	23.8	31.6	28.1	32.2
読書（マンガ、雑誌を除く）	83.5	70.7	86.7	54.0	72.4	76.4	87.8
携帯電話の使用	5.1	3.0	2.0	0.0	1.3	2.9	2.6
ネット上での友人との交流	43.8	39.4	51.0	22.2	32.9	40.0	21.7

注) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

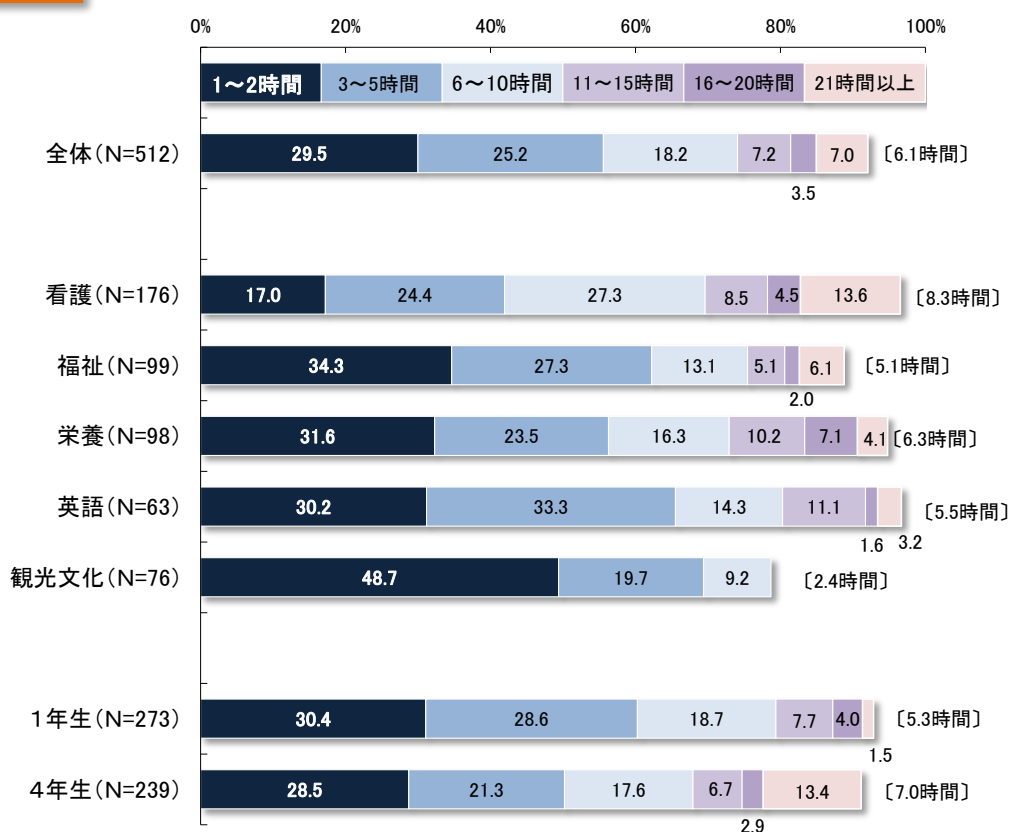
1週間のうち『勉強や課題』にかける時間は、大学全体では「1～2時間」が29.5%で最も多く、次いで「3～5時間」(25.2%)、「6～10時間」(18.2%)となっており、平均は6.1時間である。

学科別に平均時間をみると、看護学科で最も長く8.3時間となっており、次いで栄養学科で6.3時間、英語学科で5.5時間となっている。

学年別に平均時間をみると、大学の1年生より4年生の方が勉強や課題に費やす時間は長く、大学4年生で平均7.0時間となっている。

【学科・学年別 「勉強や課題」にかける時間（週1時間以上）】

大 学



注1) [] は平均時間

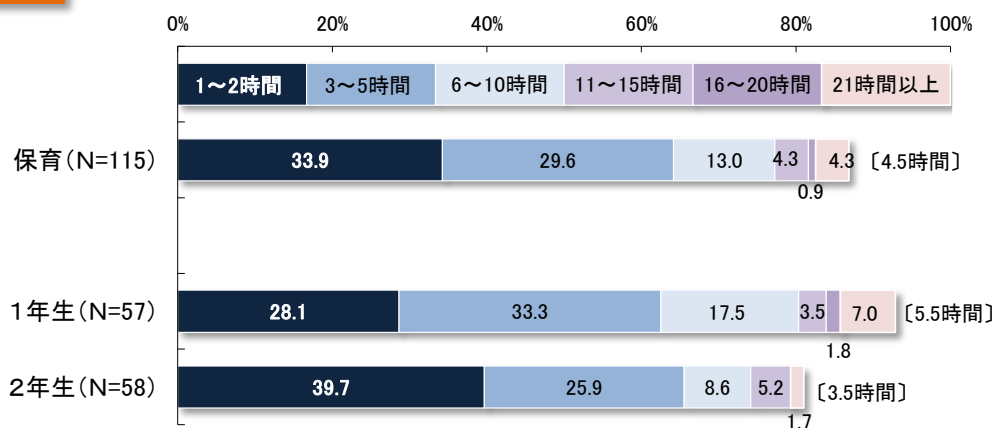
第2章 調査結果

短期大学部全体では「1～2 時間」が 33.9%で最も多く、次いで「3～5 時間」(29.6%)、「6～10 時間」が 13.0%となっており、平均は 4.5 時間である。

学年別の平均時間は、1 年生が平均 5.5 時間、2 年生が平均 3.5 時間である。

【学科・学年別 「勉強や課題」にかける時間（週 1 時間以上）】

短期大学部

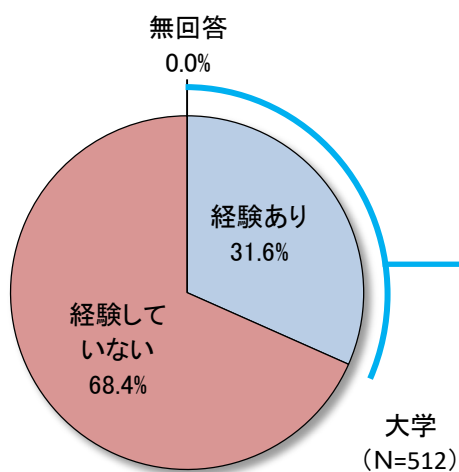


注1) [] は平均時間

大学におけるサークル活動の経験者は31.6%であり、そのうち1週間あたりの活動時間は「0時間」(58.0%)が最も多く、次いで「1～2時間」(13.0%)、「3～5時間」が9.9%となっている。平均活動時間は0.56時間である。

大学

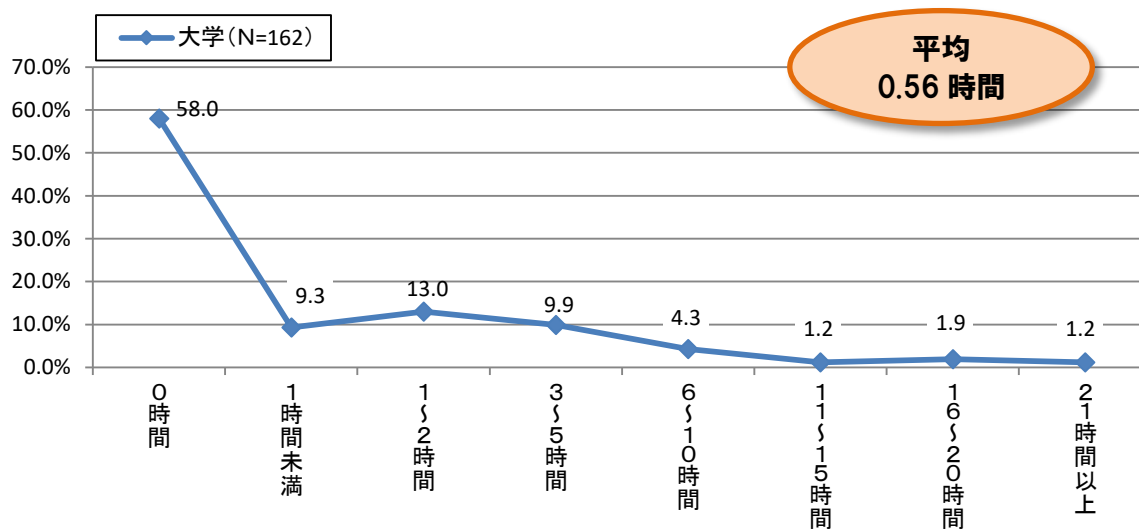
【サークル活動の有無】



注1) 共通調査「[10] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「3. サークル活動」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【サークル活動経験者の1週間あたりの活動時間】



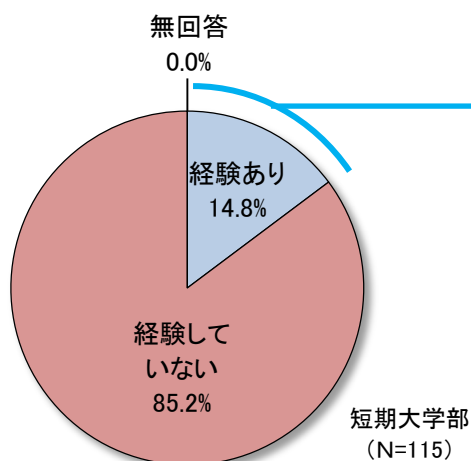
第2章 調査結果

短期大学部のサークル活動の経験者は14.8%である。

1週間あたりの活動時間は「0時間」(64.7%)が最も多く、次いで「1～2時間」(17.6%)、「1時間未満」と「11～15時間」(5.9%)となっている。平均時間は0.16時間である。

短期大学部

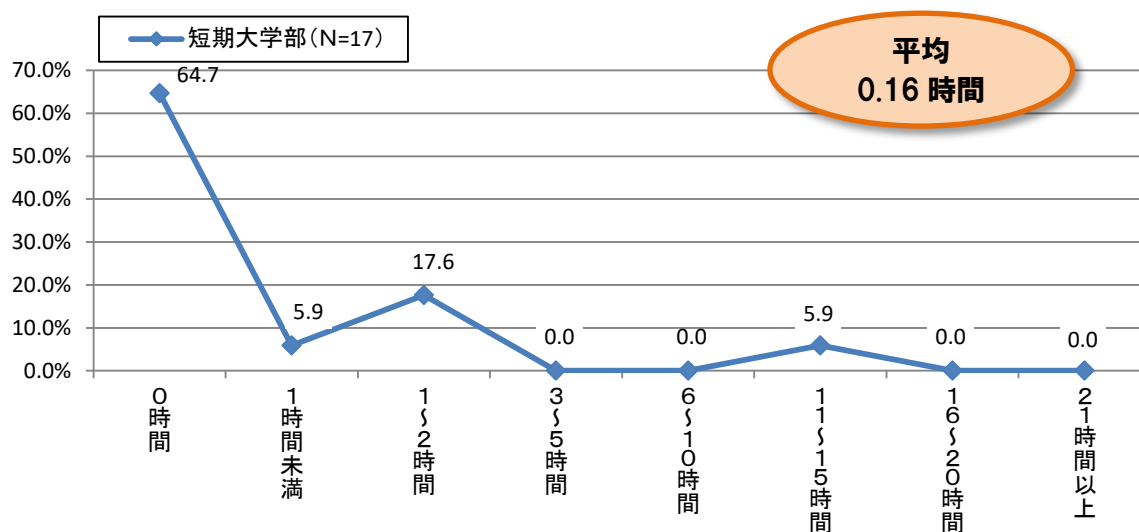
【サークル活動の有無】



注1) 共通調査「[10] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「3. サークル活動」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【サークル活動経験者の1週間あたりの活動時間】

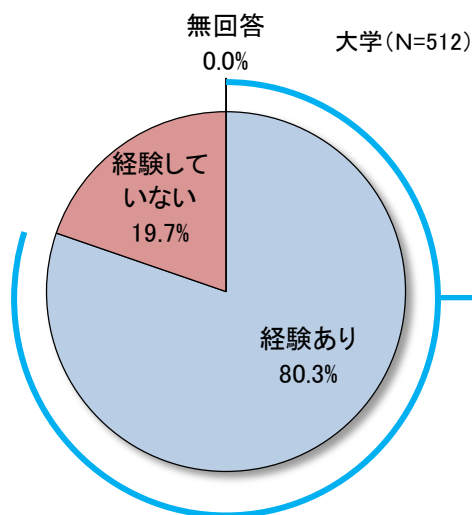


大学のアルバイトの経験者は80.3%である。

1週間あたりの活動時間は「6～10時間」が21.2%で最も多く、次いで「0時間」(19.5%)、「3～5時間」(19.2%)であり、平均活動時間は6.51時間となっている。

大 学

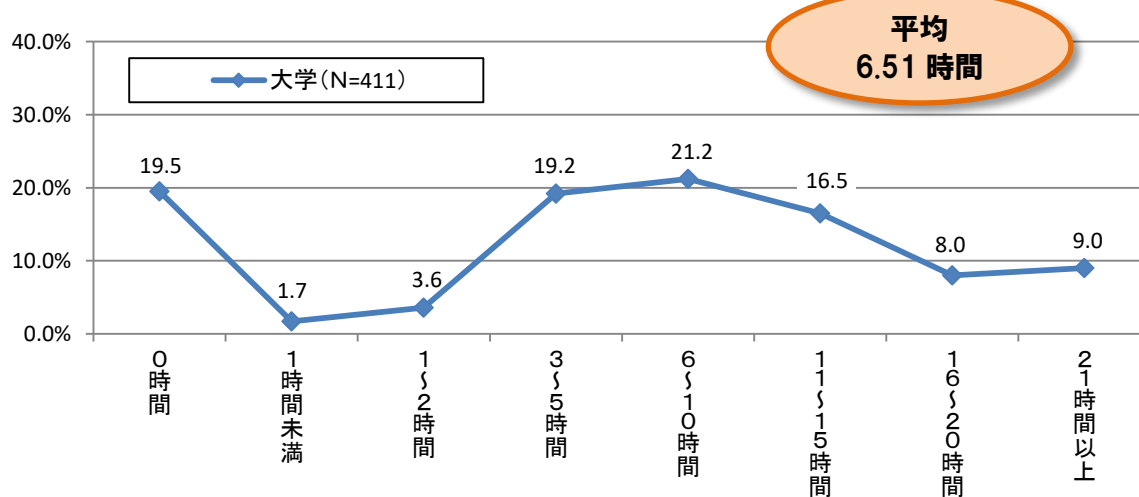
【アルバイトの有無】



注1) 共通調査の「[10] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「6. アルバイト」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【アルバイト経験者の1週間あたりの活動時間】



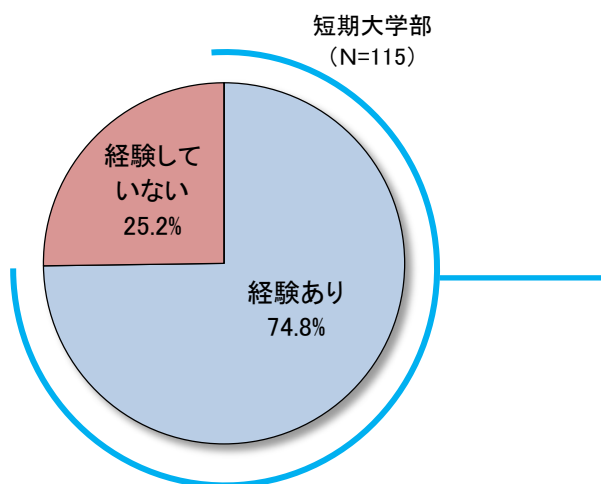
第2章 調査結果

短期大学部のアルバイトの経験者は74.8%である。

1週間あたりの活動時間は「6～10 時間」(23.3%)が最も多く、次いで「3～5 時間」(19.8%)、「0 時間」と「11～15 時間」(18.6%)となっている。平均時間は5.96 時間であり、大学よりもアルバイト時間はやや短くなっている。

短期大学部

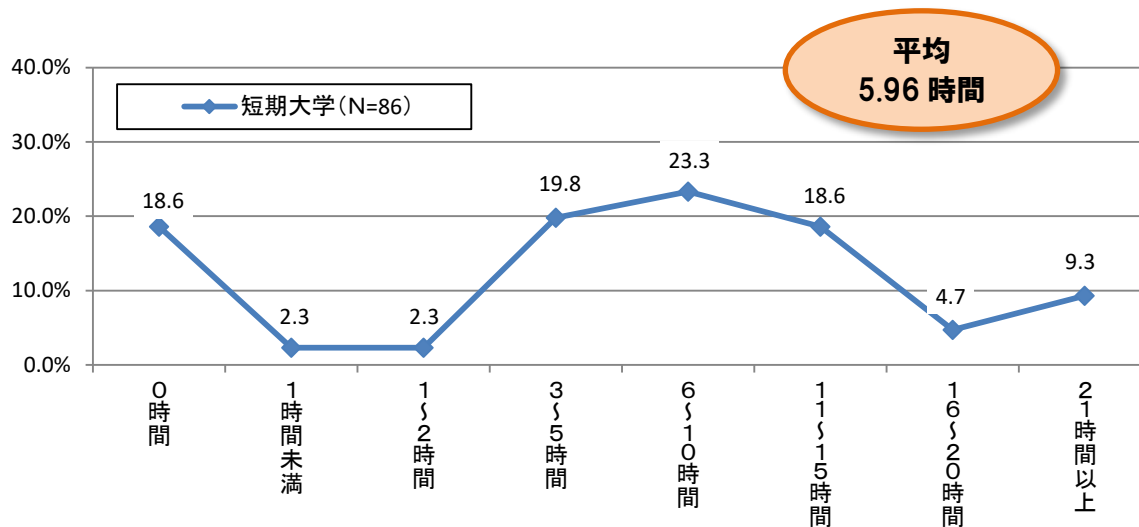
【アルバイトの有無】



注1) 共通調査の「[10] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「6. アルバイト」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【アルバイト経験者の1週間あたりの活動時間】

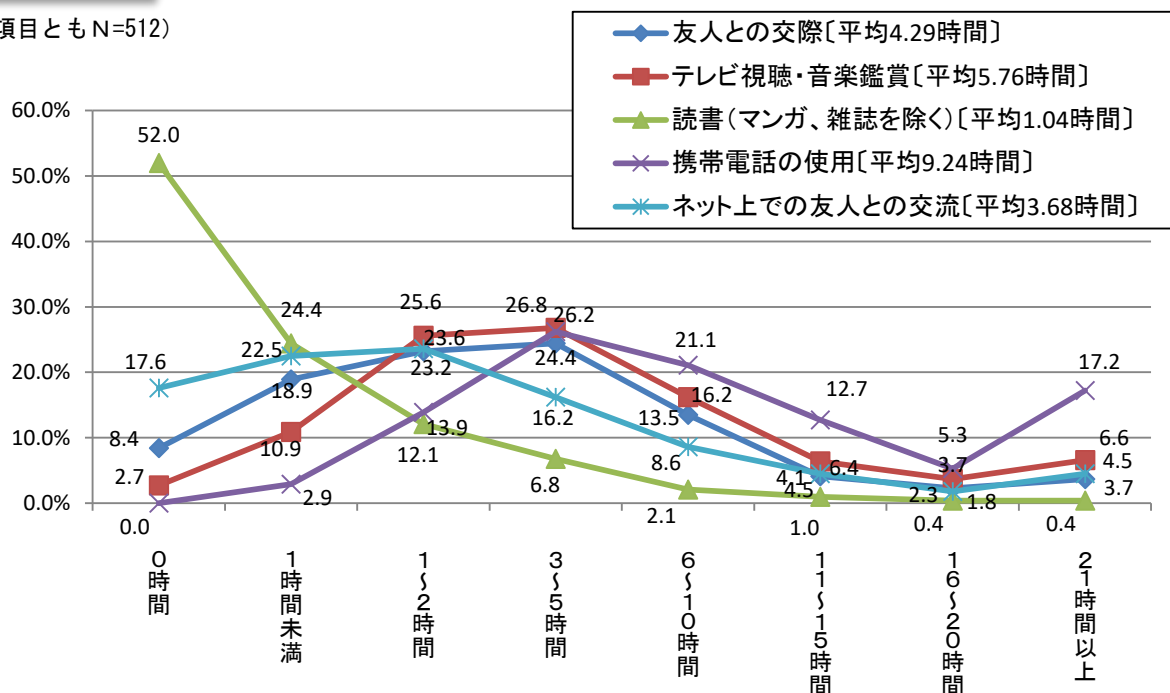


1週間あたりの余暇時間の過ごし方については、「携帯電話の使用」(大学：平均9.24時間、短期大学部：平均11.19時間)や「テレビ視聴・音楽鑑賞」(大学：平均5.76時間、短期大学部：平均7.10時間)に費やす時間が長く、「読書(マンガ、雑誌を除く)」(大学：平均1.04時間、短期大学部：平均0.73時間)に費やす時間は1時間程度となっている。

【1週間あたりの余暇時間の過ごし方】

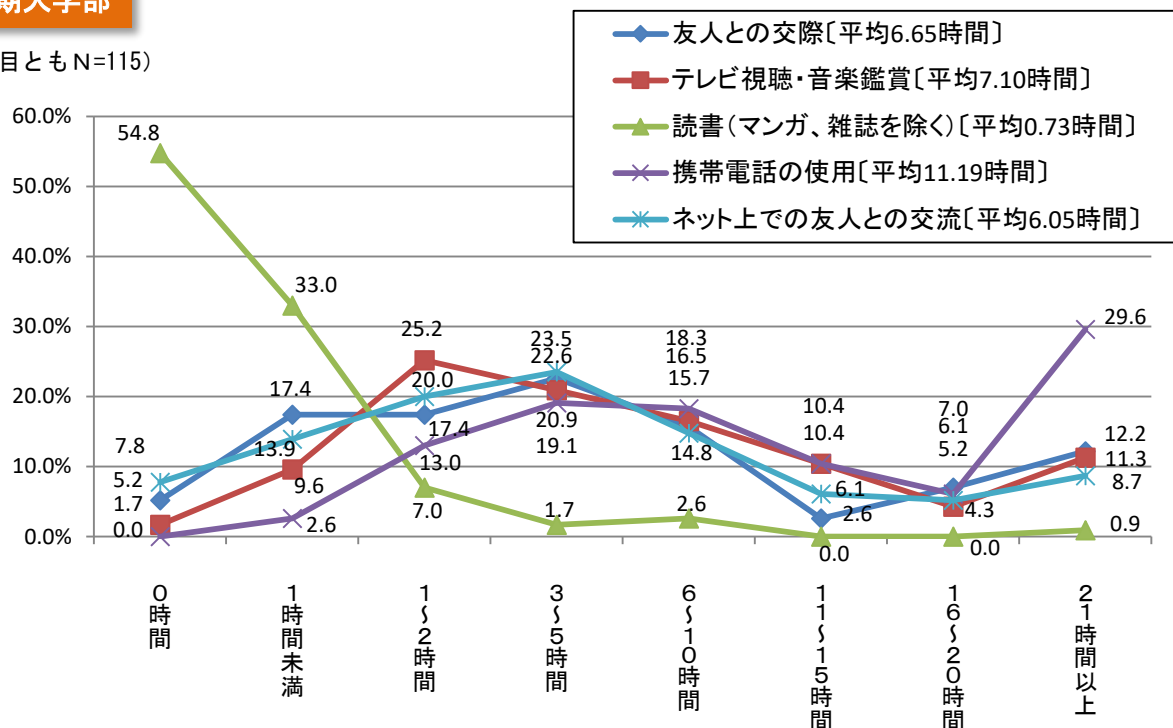
大 学

(各項目ともN=512)



短期大学部

(各項目ともN=115)



〔13〕 1週間の通学頻度・授業への出席状況・大学で過ごす時間数

1週間の通学頻度は、大学、短期大学部ともに「ほとんど来ていない」が最も多く、大学で44.5%、短期大学部では47.0%を占める。次いで、「ほぼ毎日」が大学で38.5%、短期大学部で46.1%と続いている。本調査を行った2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言の発令がなされ、本学でも対面授業の中止、キャンパスへの立入りの禁止などの措置を行った。「ほとんど来ていない」の回答者が多いのもこのような措置の影響を受けてのものと考えられる。

上記のような措置の影響もあるため、通学頻度は全体的に低くなっているものの、学科別×学年別にみると、いずれの学科も1年生は4年生に比べて「ほぼ毎日」通学する割合が高く、5～6割を占めている。最終学年になると通学頻度は減少し、看護学科(8.9%)や観光文化学科(10.3%)で低くなっている。一方、「ほぼ毎日」通学する学生は、保育2年生(37.9%)や栄養4年生(20.4%)で他の学科に比べ最終学年であっても通学頻度が多い傾向にある。

授業への出席状況は、大学、短期大学部ともに平均9割半ば程度の出席(大学:9.53割、短期大学部:9.54割)となっている。

学科別でも出席率はほぼ9割半ば前後で推移しており、看護学科が平均9.63割で最も高く、観光文化学科が平均9.29割で最も低くなっている。

学年別にみると、大学では4年生より1年生の出席率が高く、短期大学部でも2年生より1年生の出席率が高い傾向にある。

1日のうち大学で過ごす平均時間は、大学全体では平均6.51時間、短期大学部では平均8.71時間となっている。

学科別にみると、看護学科や栄養学科では大学で過ごす平均時間が、全体よりも長くなっている。

学年別にみると、1年生より4年生(2年生)の方が平均時間は少なくなり、大学4年生では5.09時間、短期大学部の2年生では8.04時間となっている。

問 あなたは今期（2020年度後期）の平日、1週間に何日くらい大学に來ていますか。
（1つだけ選んでください）

問 あなたは今期（2020年度後期）、履修登録した授業の何割程度、出席していますか。

問 大学に來た日は、授業や自主的な学習、サークル活動、友人とのおしゃべりなどすべて含めて、平均何時間くらい大学に滞在しますか。

【大学・短大別、学科別、学年別 1週間の通学頻度・授業への出席状況、大学で過ごす平均時間】
（%）

	1週間の通学頻度					授業への出席状況 (平均値)	大学で過ごす平均時間
	ほぼ毎日	日週に3、4	日週に1、2	ほとんどない、来	無回答		
【大学 計】(N=512)	38.5	6.3	9.2	44.5	1.6	9.53割	6.51時間
【看護 計】(N=176)	35.8	3.4	8.5	51.1	1.1	9.63割	7.04時間
看護1年生(N=86)	64.0	0.0	0.0	33.7	2.3	9.76割	8.62時間
看護4年生(N=90)	8.9	6.7	16.7	67.8	0.0	9.51割	5.39時間
【福祉 計】(N=99)	38.4	5.1	9.1	43.4	4.0	9.58割	6.17時間
福祉1年生(N=52)	57.7	0.0	0.0	38.5	3.8	9.83割	6.88時間
福祉4年生(N=47)	17.0	10.6	19.1	48.9	4.3	9.31割	5.29時間
【栄養 計】(N=98)	39.8	8.2	2.0	49.0	1.0	9.52割	7.32時間
栄養1年生(N=49)	59.2	4.1	0.0	34.7	2.0	9.81割	8.60時間
栄養4年生(N=49)	20.4	12.2	4.1	63.3	0.0	9.24割	5.94時間
【英語 計】(N=63)	42.9	1.6	15.9	39.7	0.0	9.42割	5.51時間
英語1年生(N=39)	61.5	2.6	0.0	35.9	0.0	9.46割	6.69時間
英語4年生(N=24)	12.5	0.0	41.7	45.8	0.0	9.35割	3.60時間
【観光文化 計】(N=76)	39.5	15.8	14.5	28.9	1.3	9.29割	5.50時間
観光文化1年生(N=47)	57.4	14.9	0.0	25.5	2.1	9.59割	6.59時間
観光文化4年生(N=29)	10.3	17.2	37.9	34.5	0.0	8.81割	3.80時間
【短期大学部 計】(N=115)	46.1	5.2	0.0	47.0	1.7	9.54割	8.71時間
【保育 計】(N=115)	46.1	5.2	0.0	47.0	1.7	9.54割	8.71時間
保育1年生(N=57)	54.4	0.0	0.0	42.1	3.5	9.60割	9.33時間
保育2年生(N=58)	37.9	10.3	0.0	51.7	0.0	9.49割	8.04時間

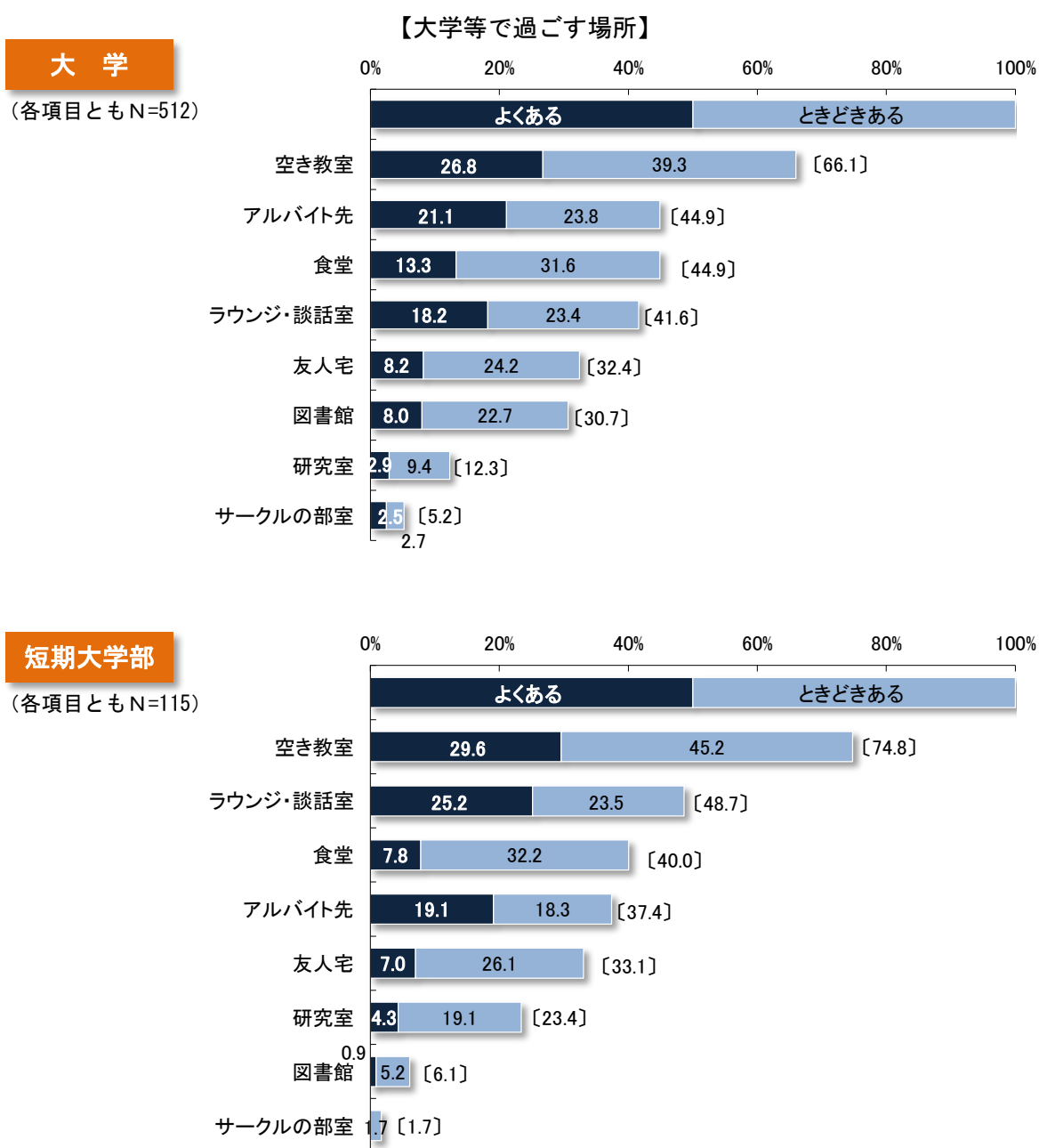
	1週間の通学頻度					授業への出席状況 (平均値)	大学で過ごす平均時間
	ほぼ毎日	日週に3、4	日週に1、2	ほとんどない、来	無回答		
【大学 計】(N=512)	38.5	6.3	9.2	44.5	1.6	9.53割	6.51時間
大学1年生(N=273)	60.4	3.7	0.0	33.7	2.2	9.71割	7.69時間
大学4年生(N=239)	13.4	9.2	19.7	56.9	0.8	9.32割	5.09時間
【短期大学部 計】(N=115)	46.1	5.2	0.0	47.0	1.7	9.54割	8.71時間
短大1年生(N=57)	54.4	0.0	0.0	42.1	3.5	9.60割	9.33時間
短大2年生(N=58)	37.9	10.3	0.0	51.7	0.0	9.49割	8.04時間

〔14〕大学等で過ごす場所

大学等で過ごす場所について、『ある』（よくある＋ときどきある）の割合をみると、大学は「空き教室」（66.1%）や「アルバイト先」、「食堂」（ともに44.9%）、「ラウンジ・談話室」（41.6%）が上位にあがっている。

短期大学部では「空き教室」（74.8%）が最も多く、次いで「ラウンジ・談話室」（48.7%）、「食堂」（40.0%）となっている。

問 あなたは普段、次のような場所で過ごすことがどのくらいありますか。
（それぞれ1つずつ選んでください）



注1) 選択肢は「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ほとんどない」の4段階

注2) [] は「よくある」＋「ときどきある」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

大学の学科別にみると、看護学科は「図書館」、英語学科は「食堂」、観光文化学科は「アルバイト先」が大学全体に比べて10ポイント以上割合が高くなっている。

学年別にみると、大学では1年生は「空き教室」(67.8%)が最も高く、次いで「食堂」(49.1%)、「ラウンジ・談話室」(45.4%)となっている。4年生は「空き教室」(64.0%)で最も高く、次いで「アルバイト先」(46.9%)、「食堂」(40.2%)となっている。

短期大学部では1年生は「空き教室」(63.2%)が最も高く、次いで「食堂」(40.4%)となっている。2年生は「空き教室」(86.2%)の割合が最も高く、次いで「ラウンジ・談話室」(77.6%)となっており、短期大学部全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

【学科別 大学等で過ごす場所】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全 体(人)	176	99	98	63	76	512	115
研究室	5.1	14.1	18.4	19.0	13.2	12.3	23.5
図書館	43.2	38.4	11.2	20.6	25.0	30.7	6.1
空き教室	64.2	75.8	58.2	63.5	69.7	66.0	74.8
サークルの部屋	2.3	5.1	8.2	7.9	6.6	5.3	1.7
食堂	40.9	46.5	49.0	55.6	38.2	44.9	40.0
ラウンジ・談話室	47.7	39.4	41.8	42.9	28.9	41.6	48.7
アルバイト先	32.4	41.4	48.0	44.4	75.0	44.9	37.4
友人宅	30.1	29.3	36.7	31.7	36.8	32.4	33.0

【学年別 大学等で過ごす場所】(%)

	大学1年生	大学4年生	【大学全体】	短大1年生	短大2年生	【短期大学部全体】
全 体(人)	273	239	512	57	58	115
研究室	4.4	21.3	12.3	5.3	41.4	23.5
図書館	22.7	39.7	30.7	3.5	8.6	6.1
空き教室	67.8	64.0	66.0	63.2	86.2	74.8
サークルの部屋	2.9	7.9	5.3	0.0	3.4	1.7
食堂	49.1	40.2	44.9	40.4	39.7	40.0
ラウンジ・談話室	45.4	37.2	41.6	19.3	77.6	48.7
アルバイト先	43.2	46.9	44.9	33.3	41.4	37.4
友人宅	35.2	29.3	32.4	24.6	41.4	33.0

注1) 「よくある」+「ときどきある」の割合(%)。

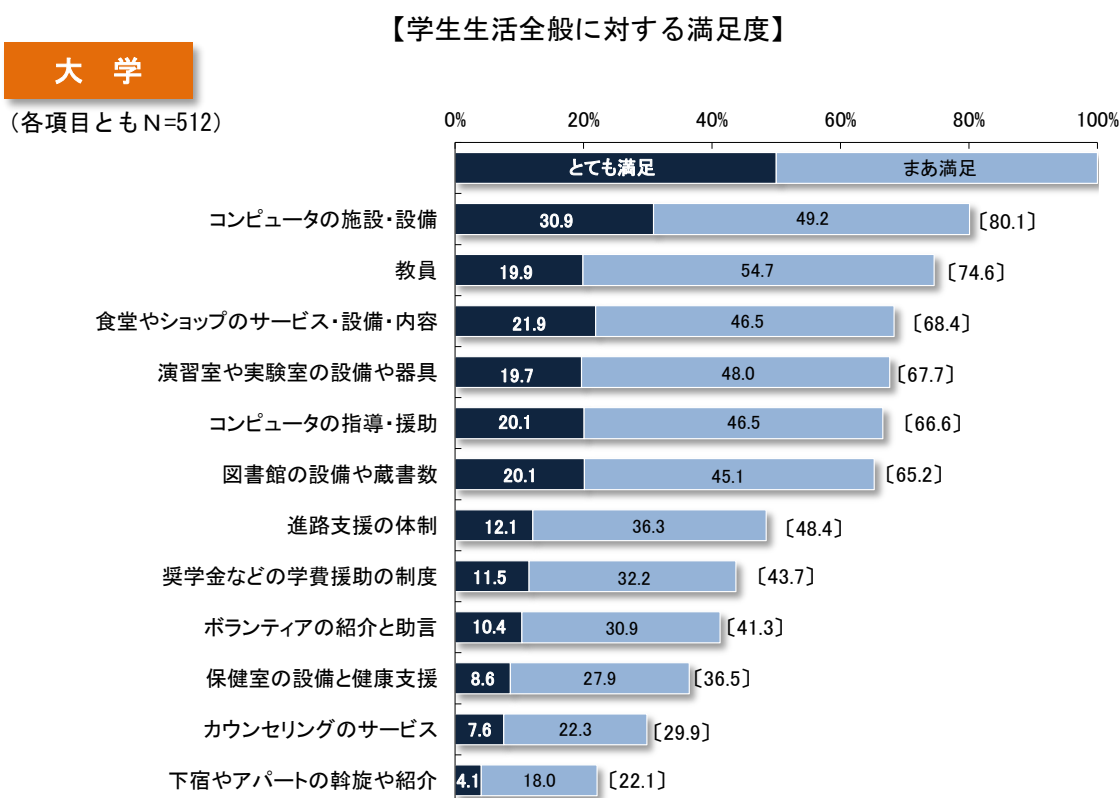
注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

〔15〕 学生生活全般に対する満足度

学生生活全般に対する満足度について、『満足している』（とても満足＋まあ満足）の割合をみると、大学、短期大学部ともに「コンピュータの施設・設備」（大学：80.1%、短期大学部：84.3%）の割合が最も高く、次いで「教員」（大学：74.6%、短期大学部：82.6%）、「食堂やショップのサービス・設備・内容」（大学：68.4%、短期大学部：78.3%）となっている。

一方、学生生活で利用する機会が少なかった、あるいは必要としなかった人もいるためか、大学、短期大学部ともに「カウンセリングのサービス」や「下宿やアパートの斡旋や紹介」に対する満足度が2割台と比較的低くなっている。

問 あなたは、本学にどの程度満足していますか。（それぞれ1つずつ選んでください）



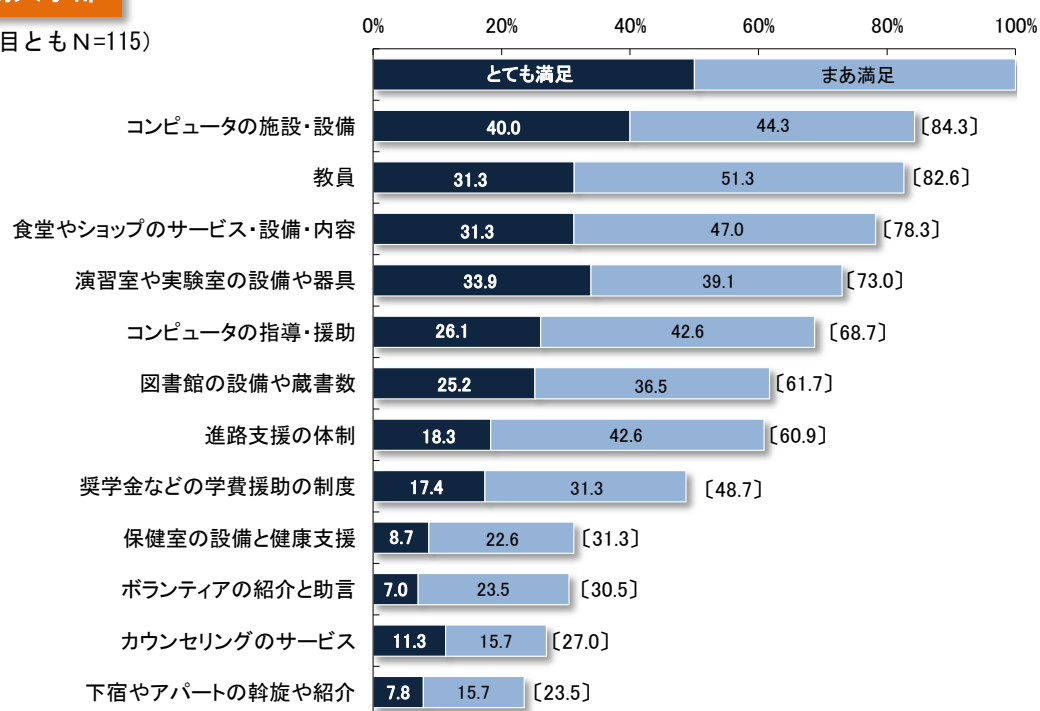
注1) 選択肢は「とても満足」「まあ満足」「あまり満足していない」「全く満足していない」「わからない」の5段階。

注2) [] は「とても満足」＋「まあ満足」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

【学生生活全般に対する満足度】

短期大学部

(各項目とも N=115)



第2章 調査結果

学生生活全般に対する満足度を相対的に評価するため、とても満足=4点、まあ満足=3点、あまり満足していない=2点、全く満足していない=1点として満足度指数を算出した。

大学全体の満足度指数を項目別にみると「コンピュータの施設・設備」(3.24)や「演習室や実験室の設備や器具」(3.11)、「図書館の設備や蔵書数」(3.10)で高く、「奨学金などの学費援助の制度」(2.73)で最も低くなっている。また、学科別にみると、福祉学科では「コンピュータの施設・設備」(3.30)、英語学科では「図書館の設備や蔵書数」(3.24)と「コンピュータの施設・設備」(3.26)の満足度が高くなっている。

短期大学部全体の満足度指数は大学と比べて全体的に高く、なかでも「コンピュータの施設・設備」(3.43)が最も高く、次いで「演習室や実験室の設備や器具」(3.40)、「カウンセリングのサービス」(3.38)となっている。

【学科別 学生生活全般に対する満足度指数】(点)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
図書館の設備や蔵書数	3.09	3.01	3.20	3.24	3.09	3.10	3.35
演習室や実験室の設備や器具	3.12	3.00	3.22	3.14	3.03	3.11	3.40
コンピュータの施設・設備	3.21	3.30	3.22	3.26	3.23	3.24	3.43
コンピュータの指導・援助	2.97	3.06	3.07	3.10	3.00	3.02	3.09
奨学金などの学費援助の制度	2.57	2.75	2.80	2.84	2.92	2.73	2.99
ボランティアの紹介と助言	2.66	2.96	2.64	2.94	2.84	2.79	2.80
下宿やアパートの斡旋や紹介	2.59	2.74	2.93	3.00	2.95	2.77	3.06
保健室の設備と健康支援	2.83	2.98	3.13	3.12	3.08	2.98	3.18
カウンセリングのサービス	2.93	3.09	3.13	2.89	3.08	3.02	3.38
食堂やショップのサービス・設備・内容	2.81	2.86	3.03	2.93	3.04	2.91	3.21
進路支援の体制	2.91	2.82	2.82	3.07	3.10	2.93	3.15
教員	2.88	3.23	2.90	3.21	2.96	3.00	3.21

学科ごとの全12項目における満足度指数の平均は、看護学科2.88、福祉学科2.98、栄養学科3.01、英語学科3.06、観光文化学科3.03、保育科3.19で、看護学科と福祉学科で満足度が低くなっている。

さらに、学年別にみていくと、観光文化学科の4年生では「図書館の設備や蔵書数」(2.73)、「演習室や実験室の設備や器具」(2.74)、「コンピュータの指導・援助」(2.79)、「ボランティアの紹介と助言」(2.50)、「教員」(2.66)の以上5項目について全学科中最下位を示している。

【学科・学年別 学生生活全般に対する満足度指数】(点)

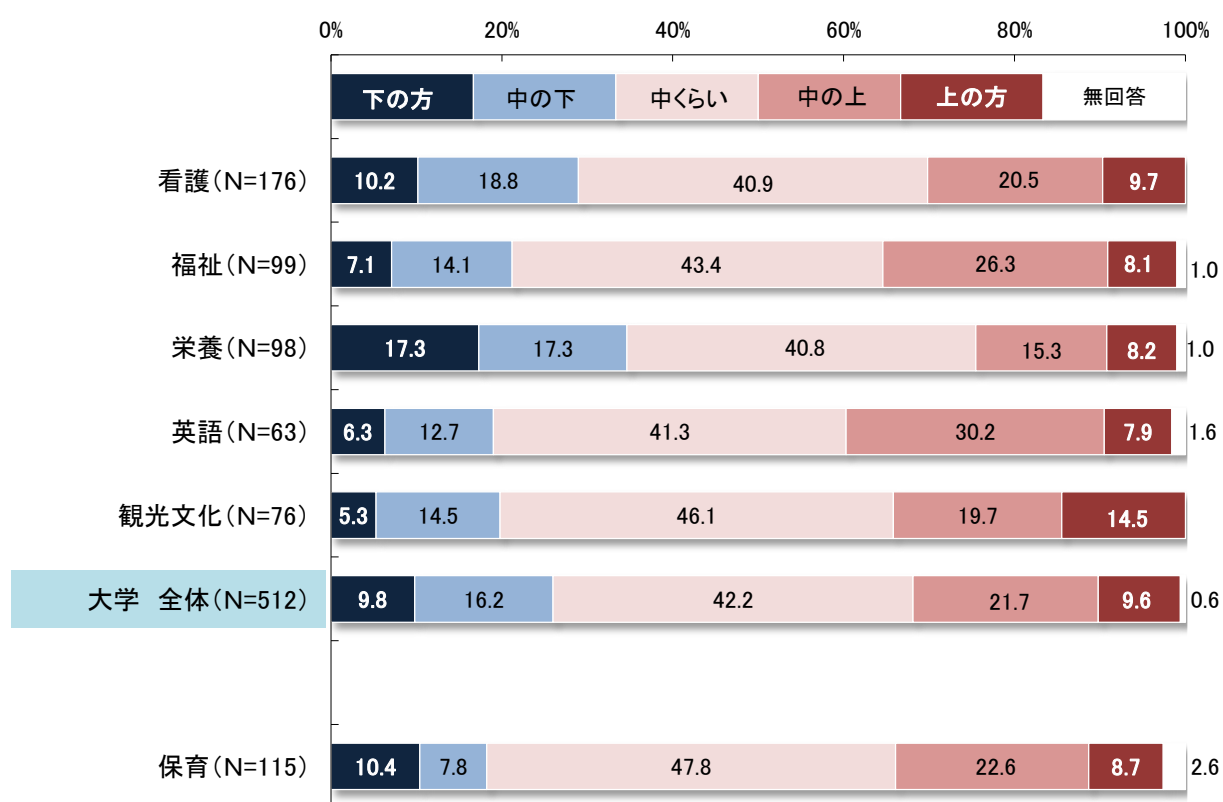
	図書館の設備や蔵書数	演習室や実験室の設備や器具	コンピュータの施設・設備	コンピュータの指導・援助	奨学金などの学費援助	ボランティアの紹介と助言	下宿やアパートの斡旋	保健室の設備と健康支援	カウンセリングのサービス	食堂やショップのサービス・設備・内容	進路支援の体制	教員	満足度指数 平均
【看護 計】(N=146)	3.09	3.12	3.21	2.97	2.57	2.66	2.59	2.83	2.93	2.81	2.91	2.88	2.88
看護1年生(N=58)	3.26	3.35	3.42	3.15	2.77	2.79	2.70	2.93	3.03	3.02	3.00	3.12	3.05
看護4年生(N=88)	2.98	2.91	3.04	2.83	2.40	2.57	2.53	2.77	2.83	2.62	2.88	2.68	2.75
【福祉 計】(N=81)	3.01	3.00	3.30	3.06	2.75	2.96	2.74	2.98	3.09	2.86	2.82	3.23	2.98
福祉1年生(N=39)	3.03	3.19	3.42	3.18	2.97	3.00	2.80	3.06	3.20	3.11	3.13	3.30	3.12
福祉4年生(N=42)	3.00	2.88	3.20	2.98	2.53	2.92	2.70	2.93	3.00	2.61	2.70	3.17	2.89
【栄養 計】(N=55)	3.20	3.22	3.22	3.07	2.80	2.64	2.93	3.13	3.13	3.03	2.82	2.90	3.01
栄養1年生(N=15)	3.47	3.38	3.45	3.17	2.81	2.71	3.07	3.37	3.38	3.16	3.06	2.85	3.16
栄養4年生(N=40)	3.10	3.09	3.02	2.98	2.79	2.50	2.77	2.96	2.94	2.91	2.74	2.94	2.90
【英語 計】(N=38)	3.24	3.14	3.26	3.10	2.84	2.94	3.00	3.12	2.89	2.93	3.07	3.21	3.06
英語1年生(N=18)	3.39	3.47	3.52	3.29	3.05	3.00	3.00	3.18	3.00	3.06	3.00	3.24	3.18
英語4年生(N=20)	3.10	2.90	2.96	2.90	2.53	2.83	3.00	3.07	2.75	2.73	3.14	3.18	2.92
【観光文化 計】(N=65)	3.09	3.03	3.23	3.00	2.92	2.84	2.95	3.08	3.08	3.04	3.10	2.96	3.03
観光文化1年生(N=39)	3.33	3.30	3.37	3.17	3.10	3.09	3.00	3.14	3.07	3.26	3.17	3.16	3.18
観光文化4年生(N=26)	2.73	2.74	3.03	2.79	2.67	2.50	2.88	3.00	3.10	2.69	3.04	2.66	2.82
【保育 計】(N=74)	3.35	3.40	3.43	3.09	2.99	2.80	3.06	3.18	3.38	3.21	3.15	3.21	3.19
保育1年生(N=27)	3.37	3.42	3.51	3.10	3.06	2.67	2.86	2.93	3.22	3.43	3.21	3.29	3.17
保育2年生(N=47)	3.34	3.38	3.35	3.08	2.93	2.90	3.21	3.35	3.43	3.02	3.12	3.13	3.19

〔16〕本学での成績

本学での成績は、大学、短期大学部ともに「中くらい」が4割台（大学：42.2%、短期大学部：47.8%）で最も多い。学科別にみると、真ん中よりも下だと感じている学生は栄養学科で多く、真ん中よりも上だと感じている学生は英語学科で多くなっている。

問 あなたの本学での成績を教えてください。（1つだけ選んでください）

【学科別 本学での成績】



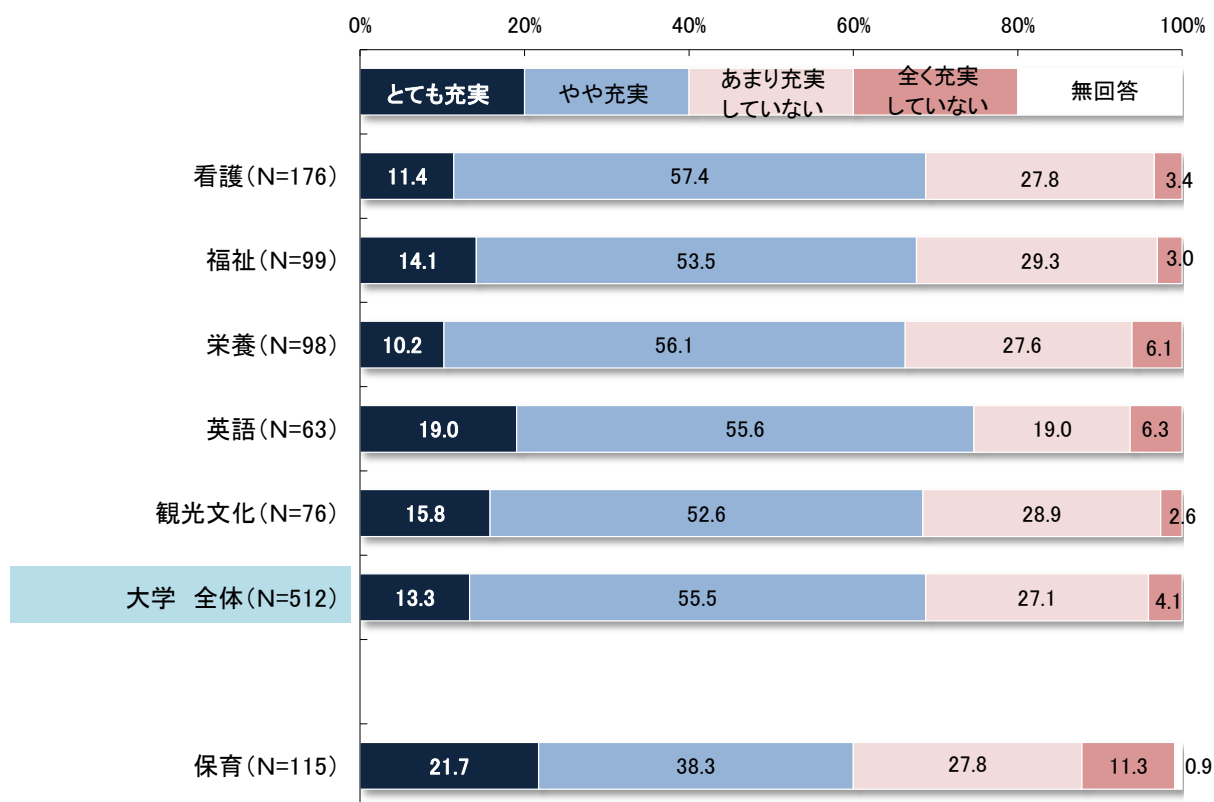
〔17〕 学生生活に対する充実度

学生生活の充実度について、『充実』（とても充実＋やや充実）の割合をみると、大学全体では68.8%、短期大学部全体では60.0%となっている。

学科別にみると、『充実』は英語学科で74.6%と最も高くなっている。一方、「あまり充実していない」、「全く充実していない」の割合は、保育科（39.1%）で他の学科に比べて高くなっている。

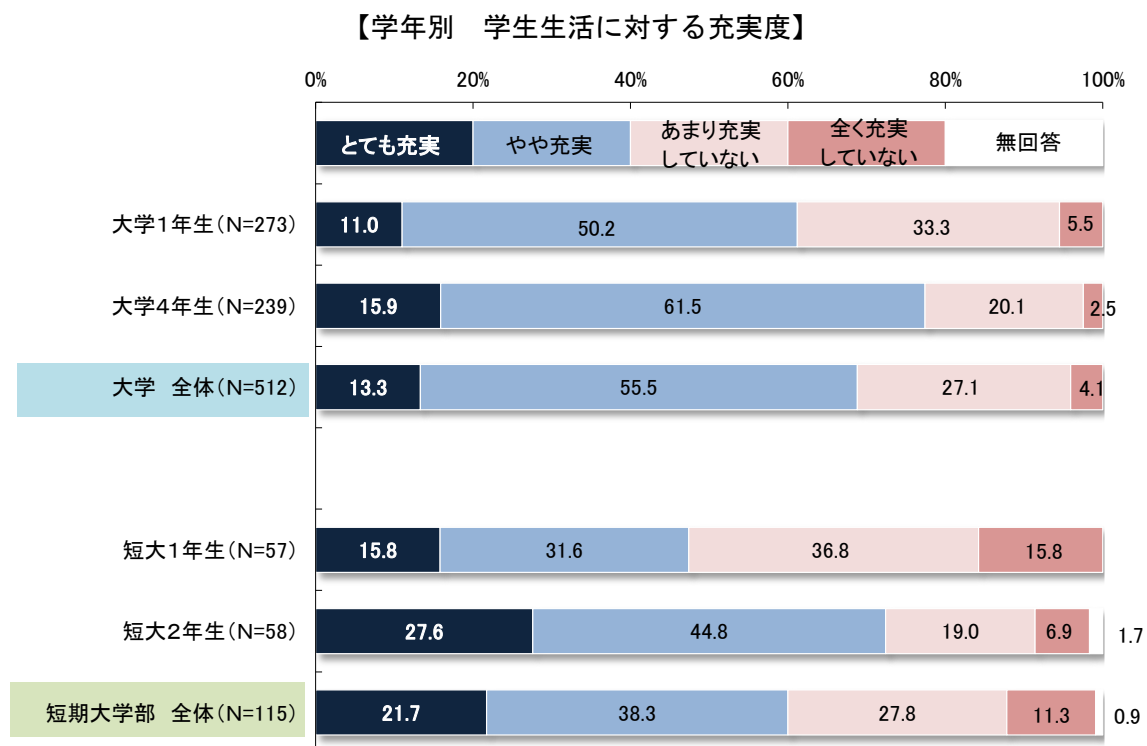
問 あなたの学生生活は、どの程度充実していますか。（1つだけ選んでください）

【学科別 学生生活に対する充実度】



第2章 調査結果

学年別にみると、短期大学部2年生で「とても充実」(27.6%)の割合が高く、他の学年に比べて充実度が高い。また、『充実』(とても充実+やや充実)は大学4年生で77.4%と最も高く、次いで短期大学部2年生が72.4%、大学1年生が61.2%、短期大学部1年生が47.4%となっている。短期大学部1年生は充実度が他学年に比べて低くなっている。



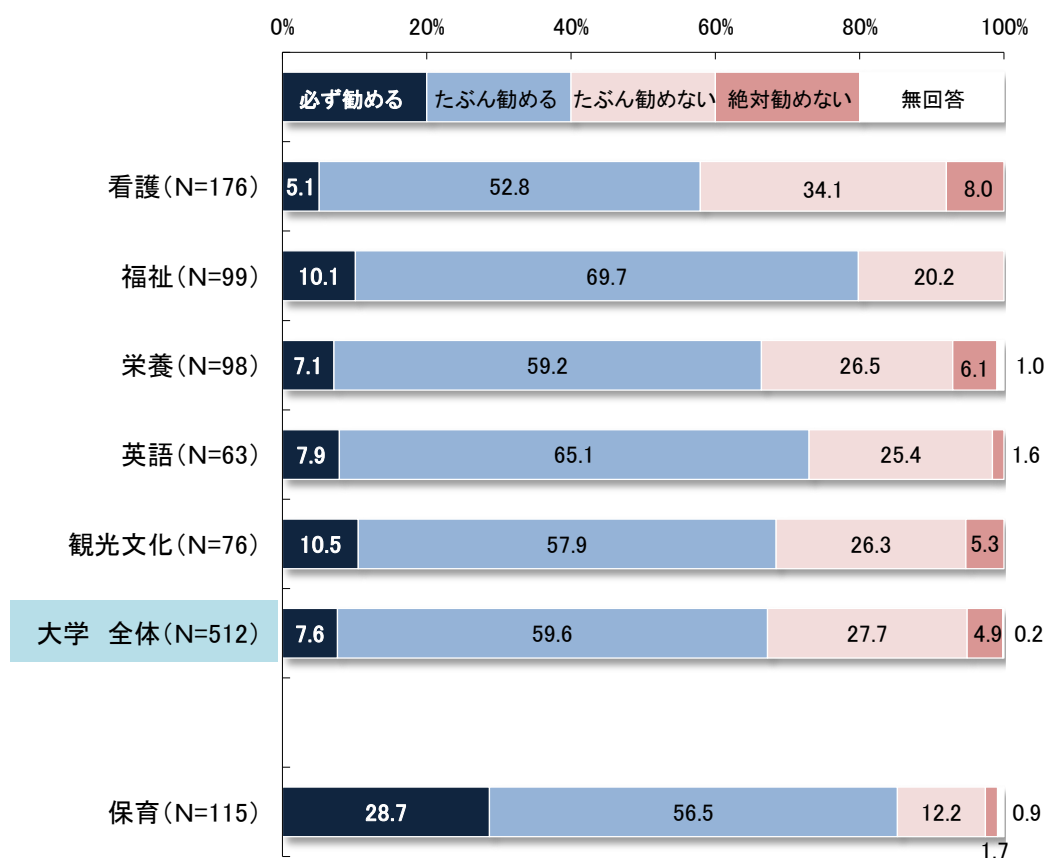
〔18〕後輩に対する本学の推奨度合

後輩が自身と同じ専門分野に興味があるとした場合、本学を勧めるか尋ねたところ、すべての大学学科、短期大学部で「たぶん勧める」（大学：59.6%、短期大学部：56.5%）が過半数を占めて最も多くなっている。また、「必ず勧める」の割合は短期大学部では3割弱（28.7%）を占めているのに対して、大学では1割未満（7.6%）にとどまっている。

学科別に『勧める』（必ず勧める＋たぶん勧める）の割合をみると、大学では福祉学科（79.8%）が最も高く、看護学科（57.9%）で最も低くなっている。

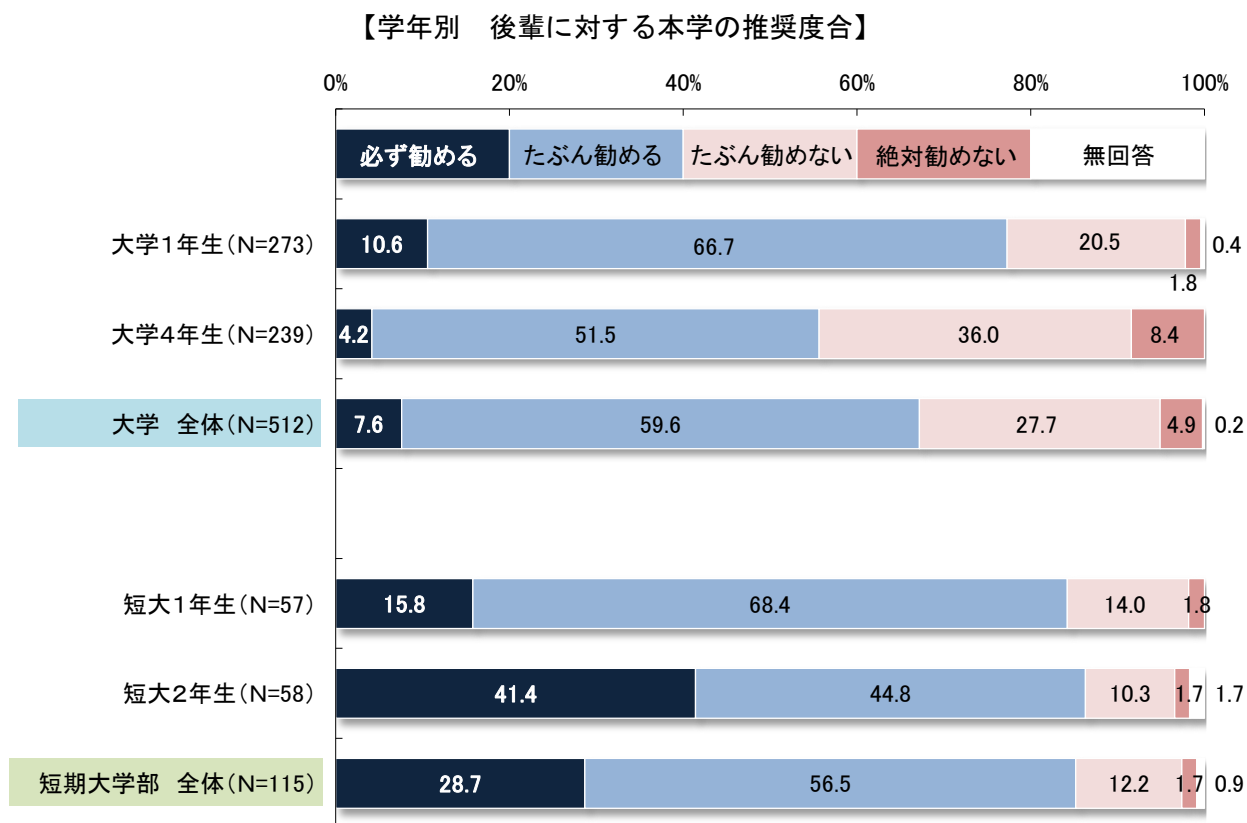
問 もしも、あなたの後輩が、あなたと同じ専門分野に興味を持っているとしたら、本学を勧めますか。（1つだけ選んでください）

【学科別 後輩に対する本学の推奨度合】



第2章 調査結果

学年別に『勧める』（必ず勧める＋たぶん勧める）の割合をみると、大学では1年生は77.3%、4年生は55.7%で、入学後から卒業前までの評価がやや低下している。一方、短期大学部については、「必ず勧める」の割合が1年生（15.8%）から2年生（41.4%）で約26ポイント高くなり、推奨度合が高くなる傾向にある。



〔19〕 悩み

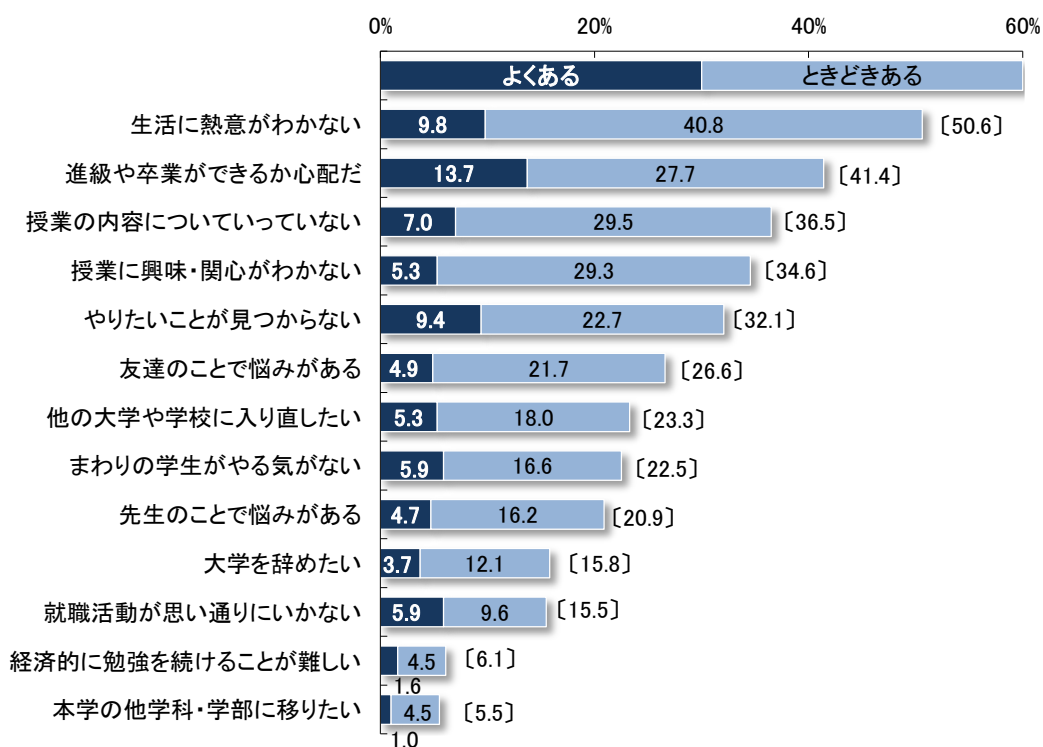
本学に入学してから感じたり思ったりしたことについて、『ある』（よくある＋ときどきある）の割合をみると、大学では「生活に熱意がわからない」（50.6%）が最も高く、次いで「進級や卒業ができるか心配だ」（41.4%）、「授業の内容についていっていない」（36.5%）となっている。

問 あなたはこれまでに、次のようなことを感じたり思ったりしたことがどのくらいありますか。
（それぞれ1つずつ選んでください）

大 学

（各項目ともN=512）

【悩み】

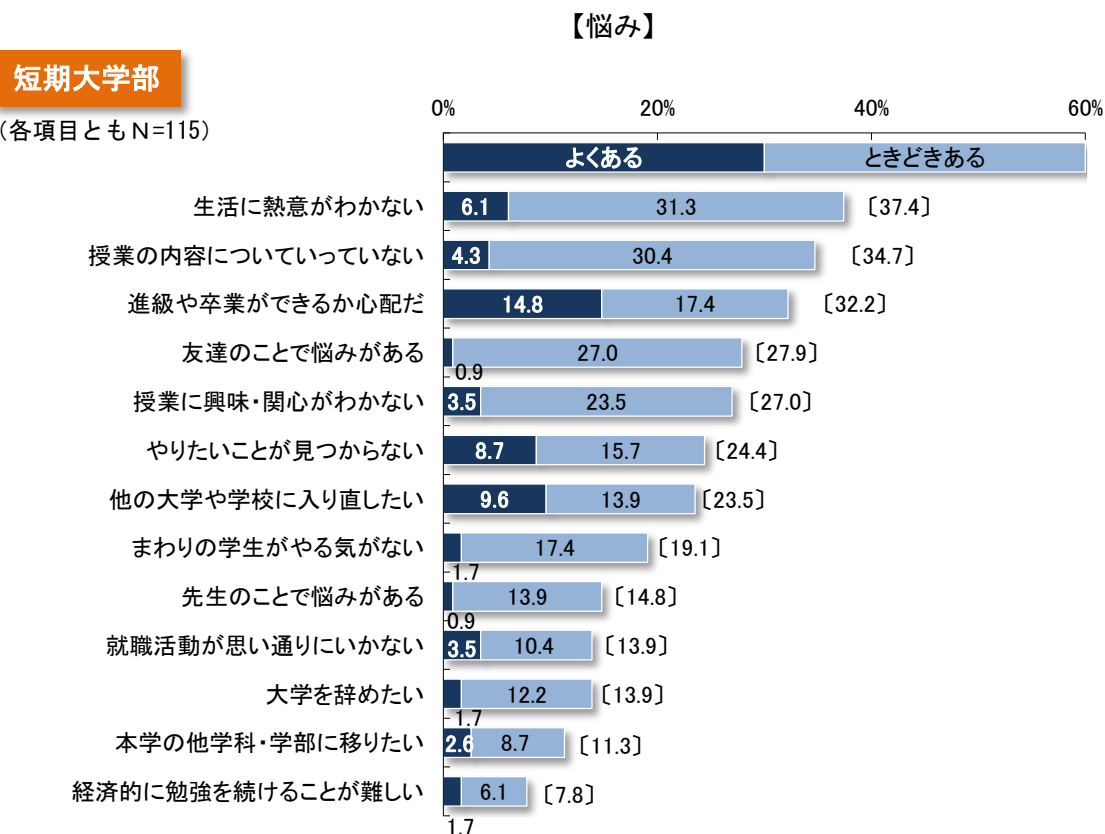


注1) 選択肢は「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ほとんどない」の4段階。

注2) [] は「よくある」＋「ときどきある」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

第2章 調査結果

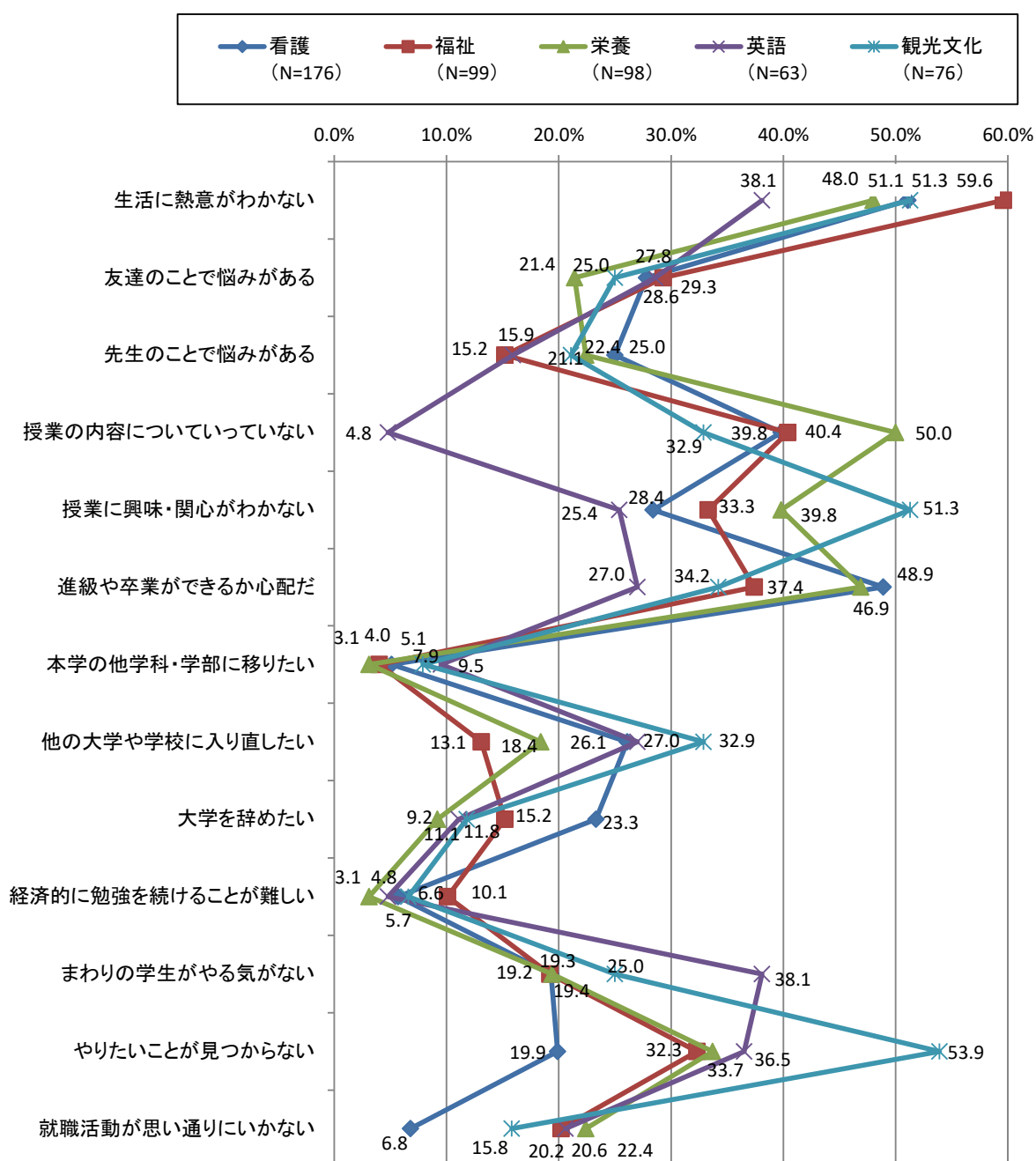
短期大学部では、大学と同様に「生活に熱意がわからない」(37.4%)の割合が最も高く、次いで「授業の内容についていけない」(34.7%)、「進級や卒業ができるか心配だ」(32.2%)となっている。大学、短期大学部ともに何かしら悩みを持つ人が多く、その内容も多様である。



大学の学科別にみると、いずれの学科も同様の傾向を示しているが、看護学科では「先生のことで悩みがある」、「進級や卒業ができるか心配だ」、「大学を辞めたい」、福祉学科では「生活に熱意がわからない」、「友達のことで悩みがある」、「経済的に勉強を続けることが難しい」、栄養学科では「授業の内容についていけない」、「就職活動が思い通りにいかない」、英語学科では「本学の他学科・学部に移りたい」、「まわりの学生がやる気がない」、観光文化学科では「授業に興味・関心がわからない」、「他の大学や学校に入り直したい」、「やりたいことが見つからない」等の割合が他の学科に比べて特になくなっている。

大 学

【学科別 悩み】



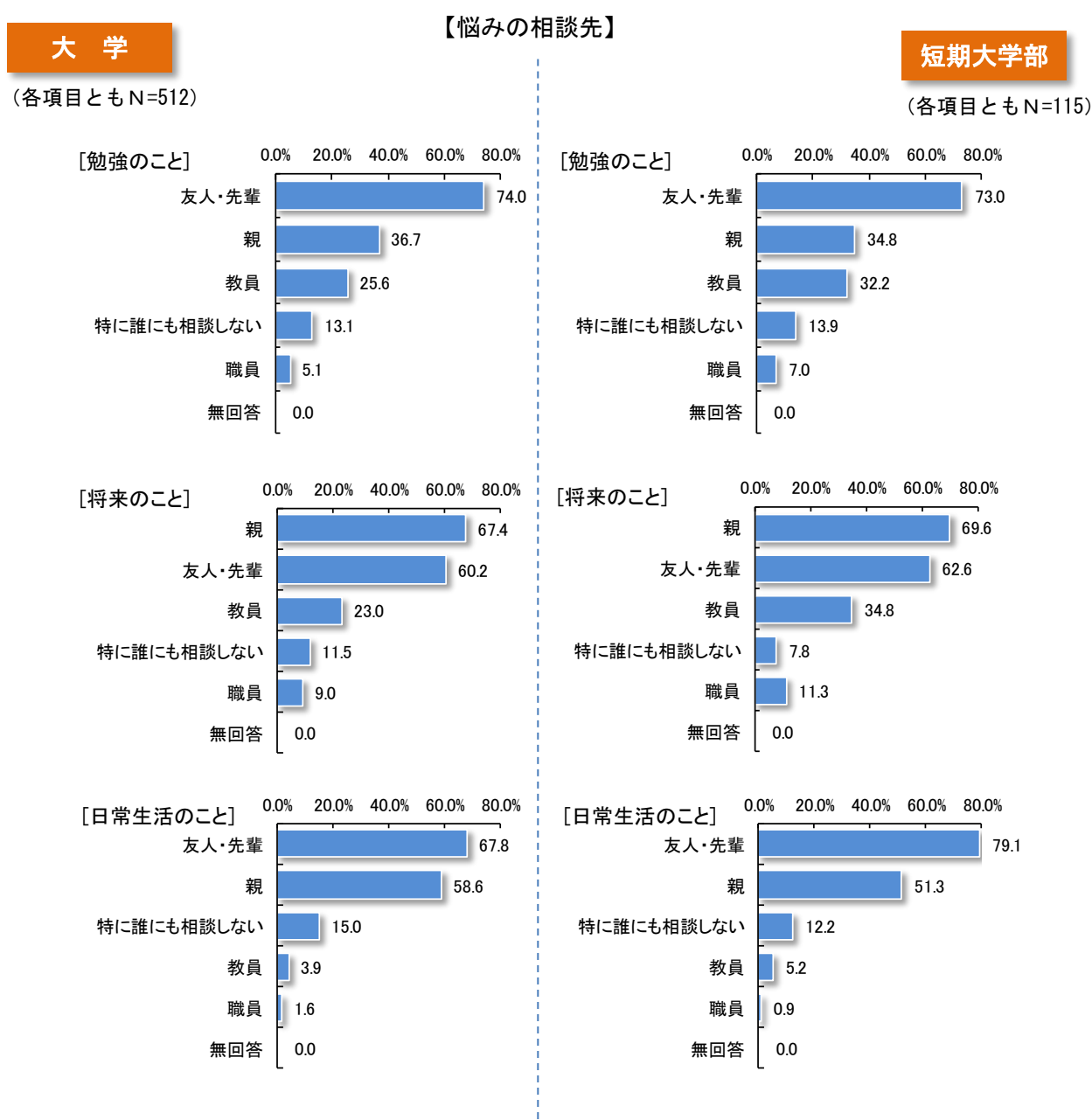
注1) 「よくある」+「ときどきある」の割合(%)。

〔20〕 悩みの相談先

悩みの相談先について、『勉強のこと』は大学、短期大学部ともに「友人・先輩」（大学：74.0%、短期大学部：73.0%）が最も多い。『将来のこと』は、大学、短期大学部ともに「親」（大学：67.4%、短期大学部：69.6%）や「友人・先輩」（大学：60.2%、短期大学部：62.6%）が6割強～7割弱程になっている。『日常生活のこと』は大学、短期大学部ともに「友人・先輩」（大学：67.8%、短期大学部：79.1%）が7割弱～8割弱で最も多い。

いずれの悩みも「友人・先輩」や「親」に相談する人が多く、大学生活における悩みの相談先として、両親はもちろん、友人関係が特に重要な役割を担っているといえる。

問 あなたは、次のことについて誰に相談しますか。（あてはまるものすべてを選んでください）



学科別にみると、総じて悩みの相談先は「友人・先輩」、「親」とする人が多いものの、福祉学科では『将来のこと』を「教員」に相談する学生の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。観光文化学科では『勉強のこと』を「特に誰にも相談しない」割合が、英語学科では『将来のこと』を「特に誰にも相談しない」割合が、福祉学科では『日常生活のこと』を「特に誰にも相談しない」割合が大学全体に比べて5ポイント以上高くなっている。

【学科別 悩みの相談先】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
勉強のこと							
全体(人)	176	99	98	63	76	512	115
教員	29.0	30.3	25.5	23.8	13.2	25.6	32.2
職員	5.7	7.1	4.1	6.3	1.3	5.1	7.0
友人・先輩	80.7	61.6	81.6	73.0	65.8	74.0	73.0
親	42.6	33.3	31.6	39.7	31.6	36.7	34.8
特に誰にも相談しない	8.0	17.2	9.2	15.9	22.4	13.1	13.9
将来のこと							
全体(人)	176	99	98	63	76	512	115
教員	23.9	37.4	21.4	12.7	13.2	23.0	34.8
職員	6.3	11.1	12.2	7.9	9.2	9.0	11.3
友人・先輩	63.6	49.5	57.1	61.9	68.4	60.2	62.6
親	75.0	60.6	70.4	60.3	60.5	67.4	69.6
特に誰にも相談しない	8.5	14.1	14.3	17.5	6.6	11.5	7.8
日常生活のこと							
全体(人)	176	99	98	63	76	512	115
教員	5.7	4.0	3.1	4.8	0.0	3.9	5.2
職員	0.0	4.0	2.0	3.2	0.0	1.6	0.9
友人・先輩	72.7	60.6	64.3	69.8	68.4	67.8	79.1
親	65.9	51.5	56.1	60.3	52.6	58.6	51.3
特に誰にも相談しない	12.5	21.2	15.3	12.7	14.5	15.0	12.2

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

〔21〕 将来のキャリア

将来、どのような職業やキャリアに進みたいかたずねたところ、大学では「医療・看護系」(34.4%)が最も多く、次いで「食・栄養系」(14.6%)、「学校・教育系」(10.0%)となっている。

短期大学部ではほとんどの学生が「保育・子ども系」(84.3%)としており、その他については少数となっている。

大学の学科別にみると、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「学校・教育系」や「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、英語学科は「運輸・通信系」と「語学・国際系」、観光文化学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」と「決まっていない」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

大学、短期大学部ともに、将来のキャリアとしてそれぞれ学んでいる専門分野への進路を主に検討している様子が見える。

問 あなたは将来、どのような職業やキャリアに進みたいですか。(1つだけ選んでください)

【学科別 将来のキャリア】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全 体(人)	176	99	98	63	76	512	115
医療・看護系	92.0	7.1	6.1	1.6	0.0	34.4	1.7
運輸・通信系	0.0	0.0	0.0	23.8	6.6	3.9	0.0
学術系	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.7
保育・子ども系	0.0	9.1	1.0	3.2	1.3	2.5	84.3
学校・教育系	3.4	33.3	2.0	15.9	0.0	10.0	1.7
機械・電気・化学系	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
建築・インテリア系	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.4	0.0
公務員・政治・法律系	0.6	4.0	2.0	7.9	5.3	3.1	0.9
コンピュータ・WEBゲーム・アニメ系	0.0	0.0	0.0	1.6	1.3	0.4	0.0
語学・国際系	0.6	0.0	0.0	19.0	9.2	3.9	0.0
食・栄養系	0.0	0.0	76.5	0.0	0.0	14.6	0.0
農林水産系	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.2	0.0
スポーツ系	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.2	0.0
デザイン・アート系	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビジネス・経営系	0.0	1.0	1.0	1.6	9.2	2.0	1.7
美容系	0.0	0.0	1.0	0.0	2.6	0.6	0.9
福祉・介護系	0.0	37.4	1.0	1.6	0.0	7.6	0.0
アパレル・ファッション系	0.0	0.0	0.0	4.8	5.3	1.4	0.0
マスコミ・芸能系	0.0	0.0	0.0	1.6	2.6	0.6	1.7
旅行・ホテル・ブライダル系	0.0	0.0	0.0	4.8	30.3	5.1	0.0
上記以外の仕事や職業	1.1	1.0	0.0	3.2	2.6	1.4	0.9
決まっていない	1.1	7.1	8.2	9.5	19.7	7.4	4.3

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

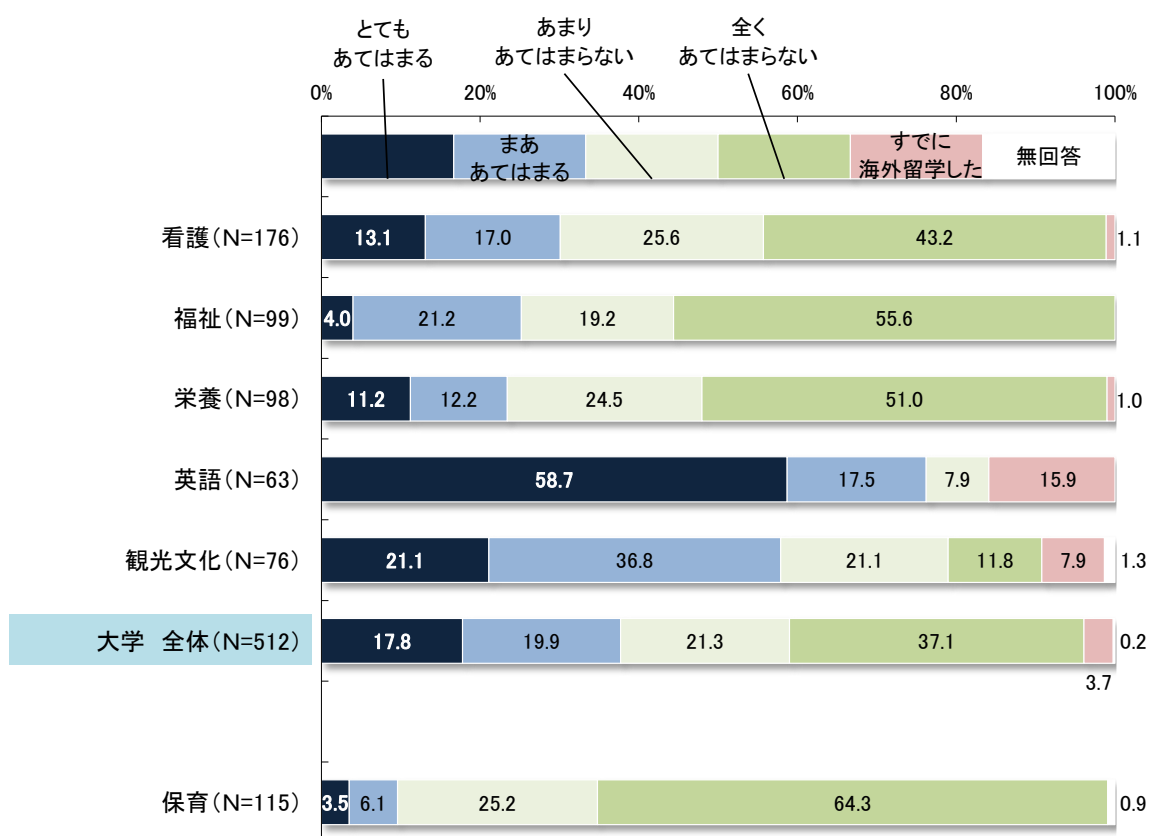
〔22〕 海外留学

海外留学の意向について、『留学したい（した）』（とてもあてはまる＋まああてはまる＋すでに海外留学した）の割合をみると、大学全体では41.4%、短期大学部では9.6%となっている。

学科別にみると、英語学科では「すでに海外留学した」人が15.9%を占めており、今後海外留学したい人を含めると『留学したい（した）』の割合が92.1%となっている。また、観光文化学科も海外留学の意向が高く、『留学したい（した）』の割合は65.8%となっている。

問 あなたは在学中に海外留学をしたいですか。（1つだけ選んでください）
 在学中にすでに留学をした方は「5.すでに海外留学をした」を選んでください。

【学科別 海外留学の意向】

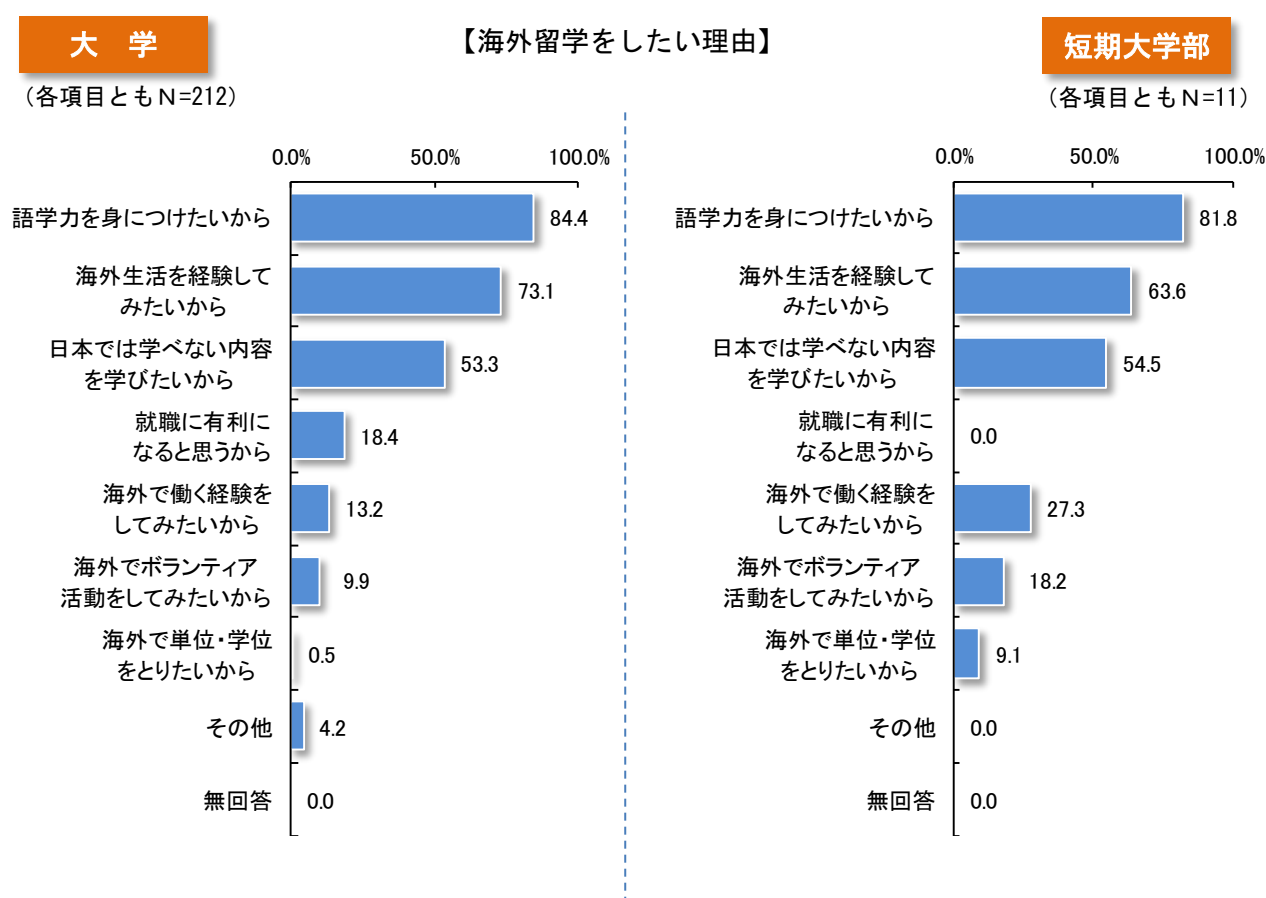


第2章 調査結果

留学をしたい理由は、大学、短期大学部ともに「語学力を身につけたいから」(大学:84.4%、短期大学部:81.8%)や「海外生活を経験してみたいから」(大学:73.1%、短期大学部:63.6%)、「日本では学べない内容を学びたいから」(大学:53.3%、短期大学部:54.5%)が多くなっている。

(「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。)

問 あなたが留学したいと思う理由は次のどれですか。(あてはまるものを3つまで選んでください)
すでに留学をした方は、留学したときを振り返って教えてください。



学科別にみると、福祉学科は「海外でボランティア活動をしてみたいから」、栄養学科では「就職に有利になると思うから」、英語学科では「語学力を身につけたいから」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

【学科別 海外留学をしたい理由】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全体(人)	55	25	24	58	50	212	11
語学力を身につけたいから	80.0	68.0	75.0	94.8	90.0	84.4	81.8
海外生活を経験してみたいから	63.6	68.0	79.2	75.9	80.0	73.1	63.6
日本では学べない内容を学びたいから	54.5	56.0	54.2	56.9	46.0	53.3	54.5
就職に有利になると思うから	10.9	4.0	29.2	19.0	28.0	18.4	0.0
海外で働く経験をしてみたいから	14.5	12.0	12.5	19.0	6.0	13.2	27.3
海外でボランティア活動をしてみたいから	18.2	24.0	0.0	5.2	4.0	9.9	18.2
海外で単位・学位をとりたいため	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	9.1
その他	9.1	4.0	0.0	5.2	0.0	4.2	0.0

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

第2章 調査結果

希望する海外留学の期間は、大学全体では「～1年」(19.3%)が最も多く、次いで「～3ヶ月」(18.9%)、「1ヶ月」(18.4%)、短期大学部では「1ヶ月」(45.5%)が最も多く、次いで「数週間」、「～3ヶ月」(ともに18.2%)となっている。

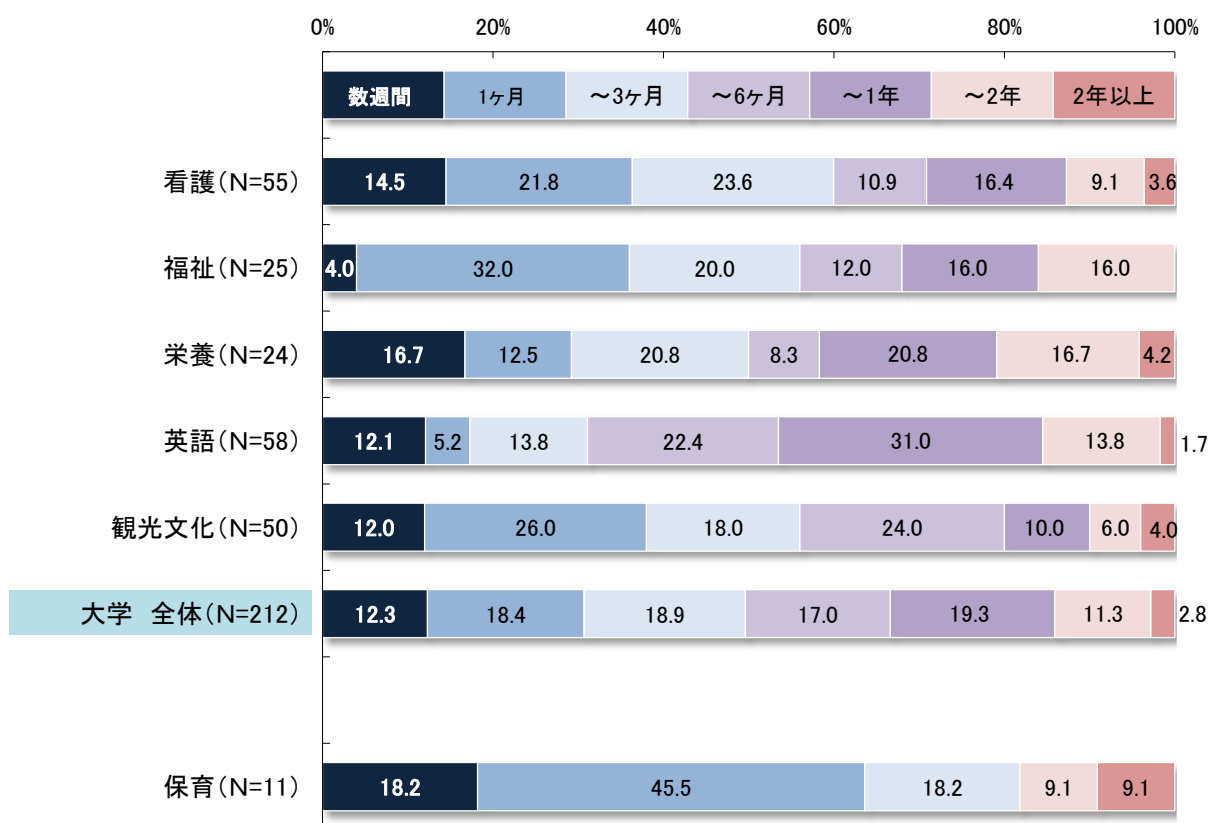
学科別にみると、英語学科は6ヶ月以上の留学を希望する割合が他に比べて高く、4割半ばを占めている。

(「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。)

問 あなたはどのくらいの期間、留学したいですか。(1つだけ選んでください)

すでに留学をした方は、実際に留学した期間を教えてください。

【学科別 希望する海外留学の期間】



希望する海外留学の時期は、大学・短期大学部ともに「2年生」（大学：66.5%、短期大学部：54.5%）の割合が最も高くなっている。

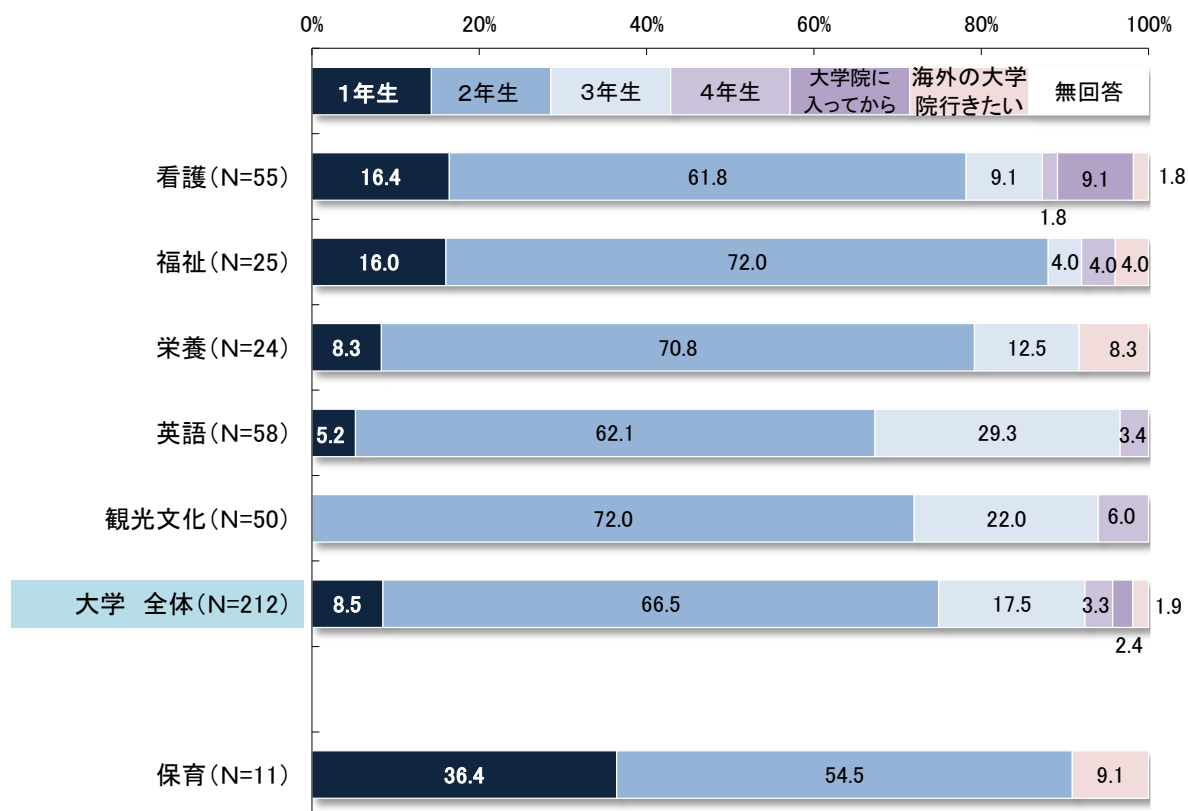
学科別にみても、大学・短期大学部のいずれの学科も「2年生」が最も多くなっているが、看護学科や福祉学科、栄養学科については1～2年生のうちに留学希望する学生（「1年生」＋「2年生」）が特に多くなっている（看護学科：78.2%、福祉学科：88.0%、栄養学科：79.1%）。一方、留学希望の強い英語学科や観光文化学科では「3年生」とする学生も他の学科に比べて多く2割～3割弱を占めている。

（「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。）

問 あなたは、どの時期に留学したいと思いますか。（1つだけ選んでください）

すでに留学をした方は、実際に留学した時期を教えてください。

【学科別 希望する海外留学の時期】



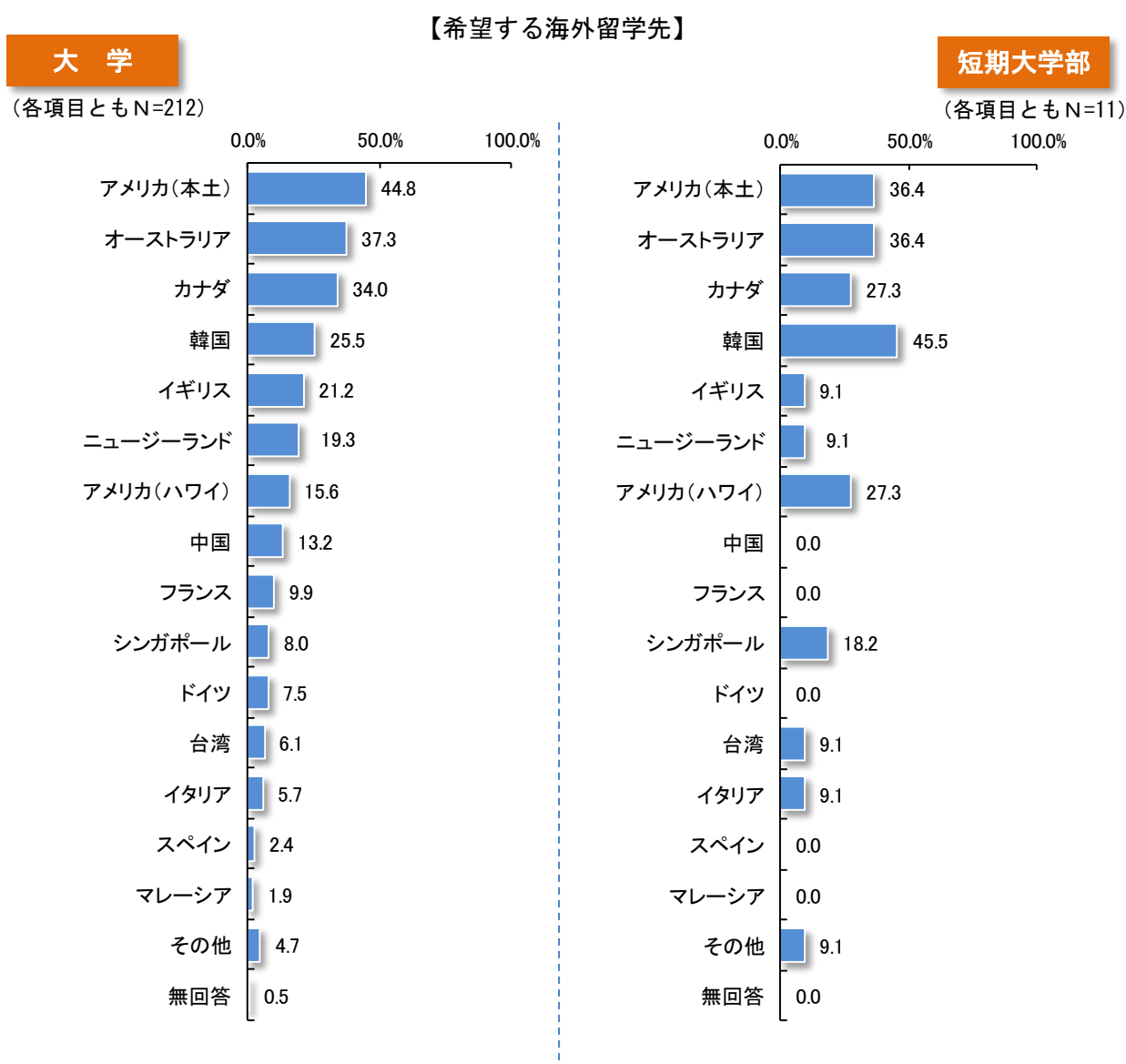
第2章 調査結果

希望する海外留学先は、大学では「アメリカ(本土)」(44.8%)、「オーストラリア」(37.3%)、「カナダ」(34.0%)の順に多くなっているのに対し、短期大学部では「韓国」が45.5%で最も高く、「アメリカ(本土)」、「オーストラリア」がともに36.4%、次いで「カナダ」と「アメリカ(ハワイ)」がともに27.3%である。

(「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。)

問 あなたは、どの国に留学したいと思いますか。(あてはまるものを3つまで選んでください)

すでに留学をした方は、実際に留学した国を教えてください。



学科別にみると、大学の看護学科は「アメリカ（本土）」、福祉学科は「アメリカ（本土）」と「韓国」、「その他」、栄養学科は「フランス」、「台湾」、英語学科は「カナダ」や「ニュージーランド」、観光文化学科は「中国」、「韓国」の割合が大学全体に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

【学科別 希望する海外留学先】（％）

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	保育
全 体(人)	55	25	24	58	50	212	11
アメリカ(本土)	56.4	60.0	29.2	41.4	36.0	44.8	36.4
アメリカ(ハワイ)	21.8	12.0	12.5	10.3	18.0	15.6	27.3
カナダ	29.1	40.0	8.3	50.0	30.0	34.0	27.3
オーストラリア	43.6	32.0	41.7	41.4	26.0	37.3	36.4
ニュージーランド	18.2	4.0	16.7	34.5	12.0	19.3	9.1
イギリス	30.9	24.0	25.0	19.0	10.0	21.2	9.1
フランス	14.5	4.0	20.8	3.4	10.0	9.9	0.0
ドイツ	10.9	4.0	12.5	6.9	4.0	7.5	0.0
イタリア	7.3	8.0	8.3	3.4	4.0	5.7	9.1
スペイン	0.0	4.0	4.2	1.7	4.0	2.4	0.0
中国	3.6	0.0	4.2	6.9	42.0	13.2	0.0
韓国	20.0	40.0	29.2	12.1	38.0	25.5	45.5
台湾	5.5	0.0	16.7	1.7	10.0	6.1	9.1
シンガポール	7.3	8.0	8.3	3.4	14.0	8.0	18.2
マレーシア	1.8	8.0	0.0	0.0	2.0	1.9	0.0
その他	5.5	16.0	0.0	5.2	0.0	4.7	9.1

注 1) 縦％。

注 2) は大学全体よりも 5 ポイント以上、 は大学全体よりも 10 ポイント以上高いものを示す。

〔23〕授業の経験

経験した授業について（よくあった＋ある程度あった）の割合をみると、大学では「毎回、授業内容に関するコメントや意見を書く授業」（95.5%）が最も多く、次いで「コンピュータやインターネットを活用する授業」（89.4%）、「学期末以外にもレポートが課される授業」（88.9%）となっている。短期大学部では「毎回、授業内容に関するコメントや意見を書く授業」（98.2%）が最も多く、次いで「少人数のゼミ・演習形式の授業」（96.5%）、「学んでいる内容と将来のかかわりについて考えられる授業」（94.8%）となっている。

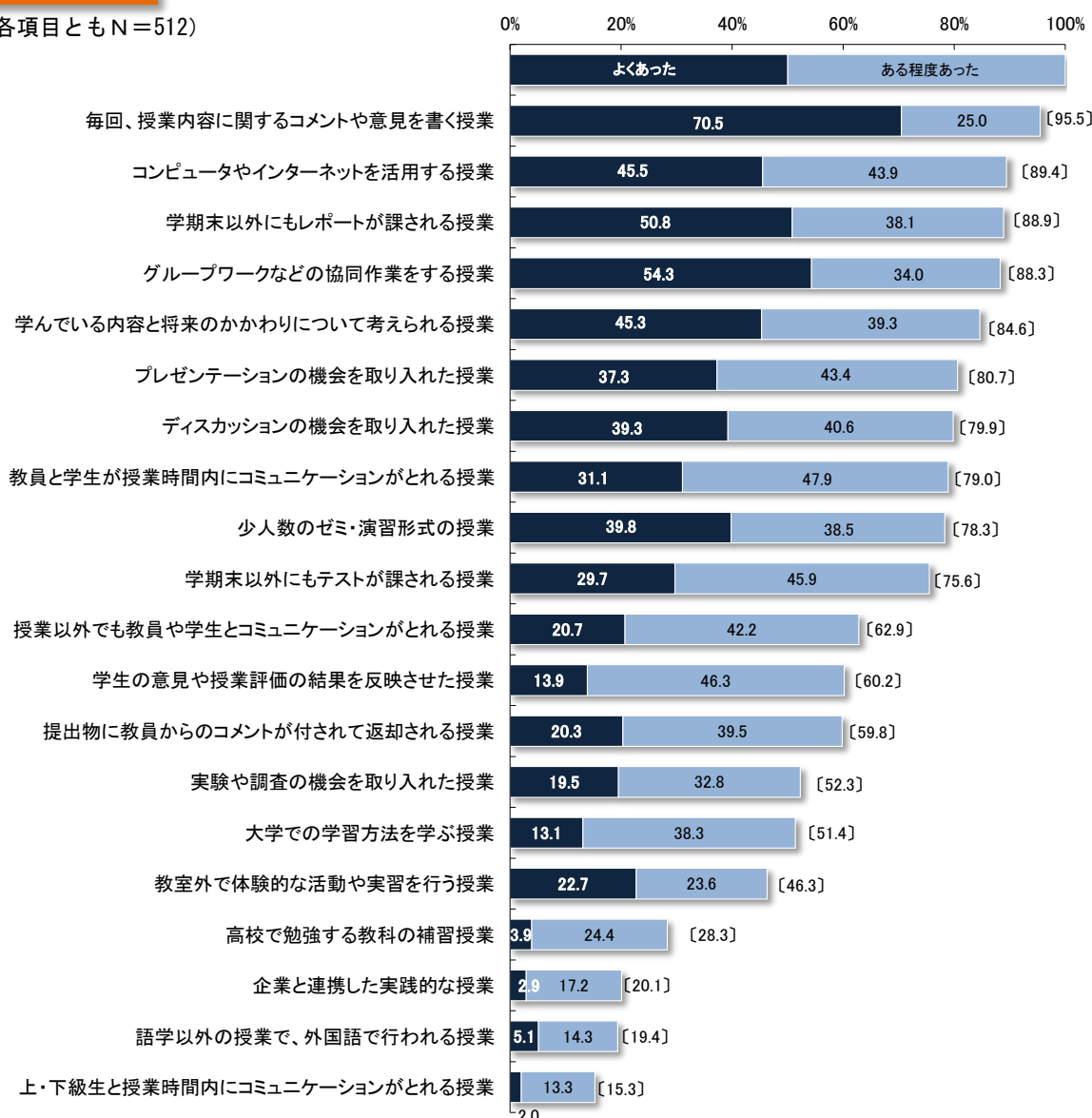
経験した授業として、20 項目中、大学については 10 項目、短期大学部については 9 項目で『あった』とする割合が 7 割を超えている。

問 あなたはこれまで、大学で次のような授業を経験しましたか。（1 つだけ選んでください）

大 学

（各項目とも N＝512）

【授業の経験】



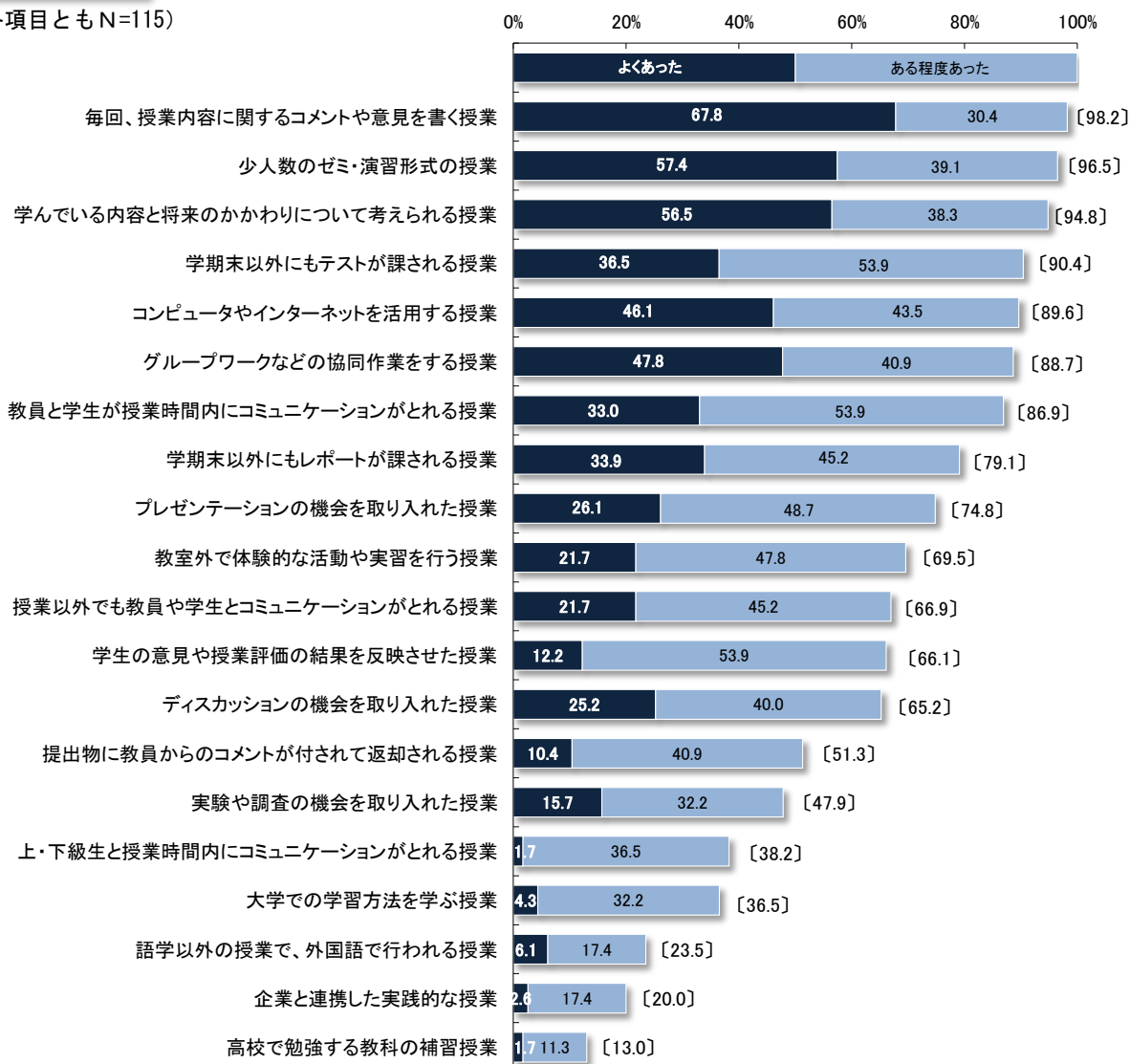
注 1) 選択肢は「よくあった」「ある程度あった」「あまりなかった」「ほとんどなかった」の 4 段階

注 2) [] は「よくあった」＋「ある程度あった」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

短期大学部

【授業の経験】

(各項目とも N=115)

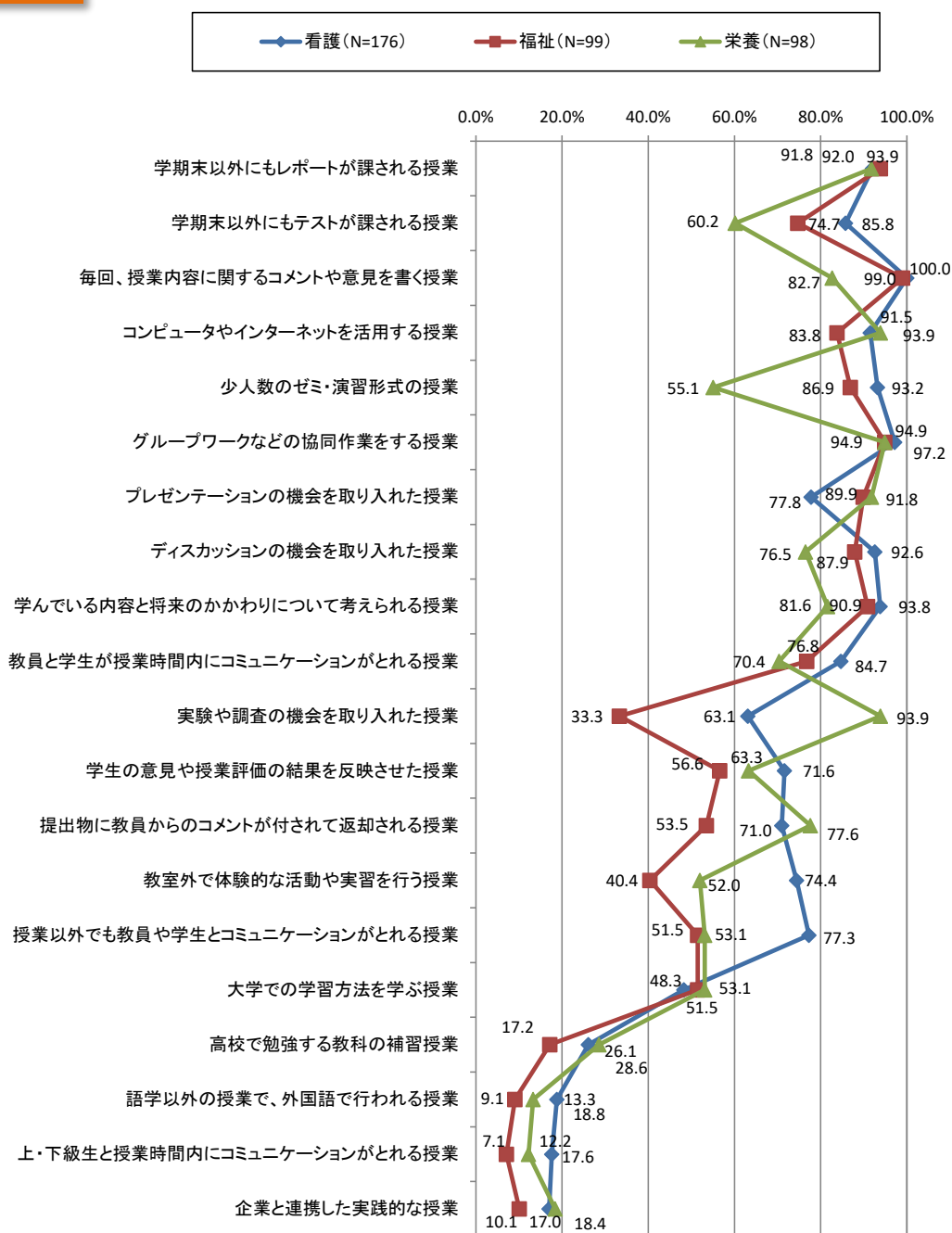


第2章 調査結果

大学の保健福祉学部では、大学全体における上位項目の授業はいずれの学科も概ね7割以上の経験を有しているが、看護学科では「授業以外でも教員や学生とコミュニケーションがとれる授業」は他の学科よりも高くなっている一方、「プレゼンテーションの機会を取り入れた授業」は低くなっている。福祉学科は「実験や調査の機会を取り入れた授業」や「提出物に教員からのコメントが付されて返却される授業」、「教室外で体験的な活動や実習を行う授業」などで他の学科よりも低くなっている。栄養学科は「実験や調査の機会を取り入れた授業」は他の学科よりも高くなっている一方で、「学期末以外にもテストが課される授業」や「少人数のゼミ・演習形式の授業」などでは他の学科よりも低くなっている。

保健福祉学部

【学部別 授業の経験】

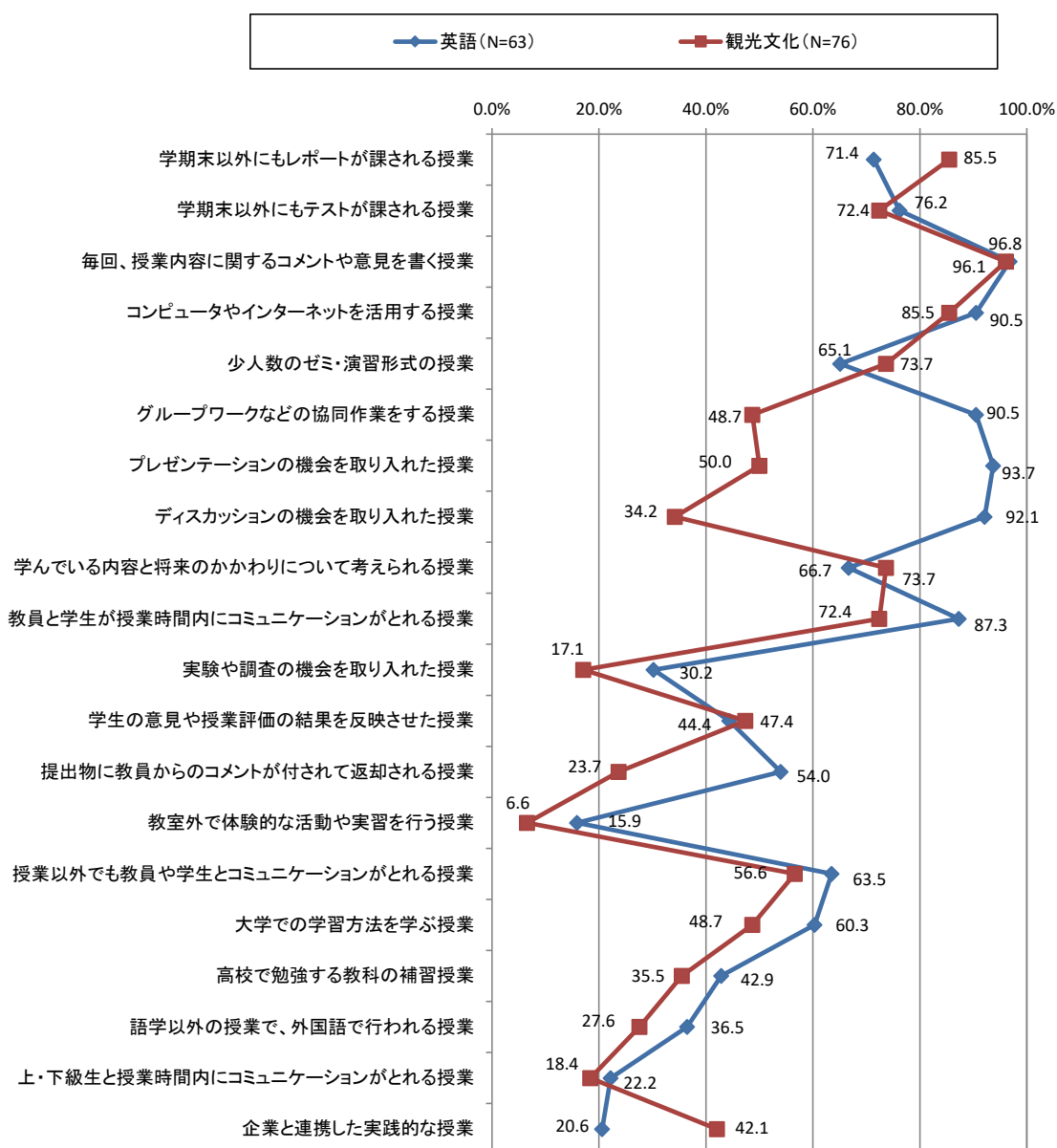


注1) 「よくあった」+「ある程度あった」の割合(%)。

人文学部では、学科によって差が大きく、約 20 ポイントの差がある授業に着目すると、「グループワークなどの協同作業をする授業」、「プレゼンテーションの機会を取り入れた授業」、「ディスカッションの機会を取り入れた授業」、「提出物に教員からのコメントが付されて返却される授業」は英語学科で高く、「企業と連携した実践的な授業」は観光文化学科で高くなっている。

人文学部

【学部別 授業の経験】



西南女学院大学・短期大学部
2020年度学生生活に関する実態調査
【調査結果報告書】

2021年5月

発行 西南女学院大学・短期大学部
学生部学生課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5134 FAX: 093-583-5770
